



題字/後西天皇御宸筆

◆天神さまと私 ─ 特別鼎談

北野文化研究所京都文化博物館

研究員 文学部教授

西山 剛氏

令和の北野祭 ― 御手洗祭から例祭、瑞饋祭まで続く一連の北野の祭礼

宮





宮は御祭神に菅原道真公(菅公)をお祀りした全国天満宮・天神社一万二千社の宗祀(総本社)の神社です。

日 その文化の礎を築いた天神信仰発祥の 本文化の中心地 京都 社

敬をうけ、 厄除け・至誠・冤罪を晴らす神として奉祀されるとともに、人々の心の支えとなる神として、各時代の社会構造と相まって篤い崇 た北野の天神信仰は、平安京の天門にあって、 二十数度に亘り、さらに将軍家や有力大名の崇敬を受けました。 て崇められるとともに、 天神」の神号を賜り、さらに皇室・朝廷の崇敬を受け二十二社に加えられ、臣下として初めて官幣中社に列格、 御鎮座致しました。天徳三年(九五九)右大臣藤原師輔卿が御社殿を造営、 創建以来、 「文道大祖 風月本主」と崇められた菅公は、和魂漢才の精神で誠の心を以って学問に勤しまれたことから、学問をはじめ芸能・農耕・ 天神信仰発祥の社として今から千年余り前の村上天皇天暦元年(九四七) 庶民に至るまで「天神様」として親しまれてきました。菅公は、学者・政治家また詩人・教育者として多方面に活躍され、 皇室との御縁深く、寛弘元年(一〇〇四)には一條天皇がはじめて北野社に行幸されました。以来歴代天皇の行幸も 天満宮・天神社の総本社として崇敬されてきました。 朝野を問わず人々の暮らしの最も重要な指針となり今日まで育まれてきたのです。 菅公薨去延喜三年(九○三)より凡そ百年の歳月をかけて誕生 一條天皇により北野祭は官祭に与り、 六月九日、御神託により平安京の天門にあたる北野 皇城鎮護の神とし 「北野天満大自在

神社建築史に多大な影響を与え続けています。 特に多数の桃山建築中でその創建当時の規模そのままに保存されているのは当宮が唯一のもので、 ある縁起絵巻の中で唯一無二の神社絵巻物であり、 建築群です。御本殿は八棟造と称され、国宝の指定を受ける桃山文化の代表的建築です。 また現在の御社殿は、豊臣秀吉公の遺命により豊臣秀頼公が片桐且元を奉行として、慶長十二年(一六〇七)に造営された一大 千有余年に亘る歴史の中で受け継がれてきた天神信仰の根本を示すのが、当宮所蔵の国宝「北野天神縁起絵巻」承久本です。 その信仰性や描かれる世界観、美術的価値は世界が認めるところであります。 その絢爛豪華さは謂うまでもありませんが 後世の権現造の原型となるなど、

生涯一貫された「誠の心」は、日本人の感性として現在にも生き続けています。

今日も多くの参詣者が訪れています。 菅公の御神霊を祀る北野天満宮は、 御墓所・太宰府天満宮と共に全国天満宮の宗祀と称され、 日本文化の礎、 学問の神様とし





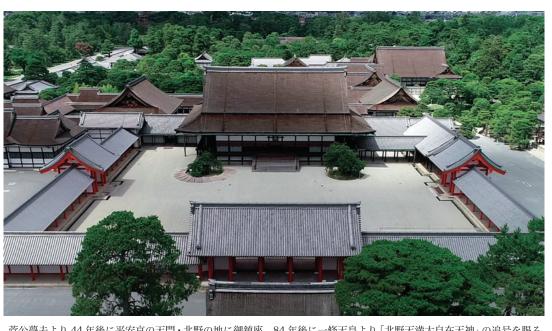
【シンボルマーク】

神々の出入口「天門」に菅原大神が奉祀された聖地です。爾来、 野の地より全国に天神様の御神威が益々昂揚していきました。 北野は千二百年に亘り、国都として文化を育んだ平安京にて、天の 平安京の天門に位置する北極星を星梅鉢と鳥居(北野)で捉えたマーク

明りに照らされる錦秋のもみじと紙屋川にかかる鶯橋

水防と洛中洛外の境界として豊臣秀吉公が築いた土塁が現在でも史跡「御土居」として自然林とともに境内西側に残っ ている。錦に染まった紅葉が明りで照らされる景色は息をのむほどの美しさを生み出している。





菅公薨去より44年後に平安京の天門・北野の地に御鎮座 84年後に 一條天皇より「北野天満大自在天神」の追号を賜る (写真:京都御所遠景)

一げま ず以て 謹んで 聖寿 の万歳と皇室の弥栄、 氏子崇敬者皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申

に鑑み令 続 いて勅祭由 一宮は 和九年三月二十五日を中心に菅公慰霊の「御神忌大祭」を十日間程斎行 来る令和 「縁の「北野祭」を八月六日より凡そ二か月の日程で、 九年に式年大祭千百二十五年半萬燈祭を迎えま す。 御手洗祭、 本大祭で 例祭、 は、 いたす予定です。 歴史と伝 北野御霊会

瑞饋祭と続く一連の祭儀を斎行する所存でございます。

平安京遷都より五十三年後に出現された菅公により、 信 してお に皇室と国家国民の安寧を祈念する朝廷の祭祀として北野祭が執行されたのであります。 年(九八七)一條天皇より「北野天満大自在天神」 された門弟らは、 て全国民的信仰へと展開した天神信仰の歴史の再現として斎行申し上げる次第でございます。 臣下を祀る社として唯一「二十二社」に加列、さらに当宮への行幸も始めて行われ、 (九四七) た二年後の延喜五年(九○五)大宰府の御墓所に味酒安行が祠堂を建て、 用 来る半萬燈祭の北野祭再興は、 入れて 今号では立命館大学文学部の本郷真紹教授と京都文化博物館の西山剛学芸員との鼎談を掲載 野祭 明天皇の条に「天皇仏法信けたまい、神道を尊びたもう」と記されるように、 始まりました。 ります。 は、 昇華する「和魂漢才」の精神が説かれ、 村上天皇の勅命により、 かつて一條天皇が当宮に勅使を差遣されたことに端を発します。 飛鳥大和王朝時代に仏教をはじめ様々な外来文化が伝来し、 菅公を菅原大神と称して崇め奉りました。薨去より四十四年後の天暦元年 しかし世は安定せず混沌とした時代が続きます。 当宮において北野天神として更なる神徳宣揚が成され、 平安京の天門・北野の地に御鎮座され、 我が国の王朝文化が華開くのです。神仏習合 の御神号を賜ることで御神威は益々高揚し、 自国の文化のみならず、 仏教伝来より三百年後、 八十四年後の永延元 以来 翌年に帰京を許 異国の文化も受 菅公が薨去 神仏習合の 『日本書紀』 名実とも

後 とも格 别 天神信仰の発揚と神徳宣揚に職員一丸となり尽力いたす所存でございます。 のご理 解ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

(鼎談の模様は十頁から十三頁参照

改めて

「文化の原点は感性

あ

と確信した次第であります。

歴史や経緯、

識と幅広い視野で研究を続けられる両先生のお話を拝聴し、

菅公を崇め慕う天神信仰の有り様も含めた日本人本来の信仰の姿について、

令 和 四年 十月吉日

宫

司 橘



令和の北野祭はじまる

御手洗祭から例祭、 瑞饋祭まで続く一 連の 北野の祭礼

か

12

御

手

洗

祭を斎

行

御

本

殿

にお

1,

て

御手

洗祭を厳

立穀豊穣

. 万 愛の

の 風

無 の

病息災を 硯·角盤

民松

遺



遺されている。された。室町時が、かつてはおが、かつてはおります。 で が願した。 水差しに梶の おろいにく が 古例に公 八月七日 る重儀として盛大に執り行れた。室町時代に北野御手、かつては勅祭北野祭の一られた北野御手水神事の伝この御手洗祭は、古来より した。 日 午前 の い、御神前には菅公御 葉を供え、 十 時 か 5 テわれた当時 「禊祓 o i 五

伝

h

統北

現在一般的には七月七日が七夕の現在一般的には七月七日が七夕の し上げる御手洗祭前夕神饌も斎 を斎行し 七夕の 翌日の御当宮では 日 で **斎行し、当宮の** の御手洗祭斎行 る。前日の六日 では旧暦の七夕

'の祭礼を「令和の北野祭」と捉えて斎行している。||時の北野祭の祭列を今に伝える十月の瑞饋祭に至る一 和の北野 祭 と捉えて斎 例祭・北野御霊会、さらに取り組む一環として、このの菅公御神忌千百二十五年 行してい

北 燈会で夜 間 拝 観

手洗祭に先立ち七月六日 か らは約 力 月半に わ た



御手洗祭献上 特殊神饌「真桑瓜」



御手洗祭祝詞奏上



夜間参拝の様子

十

宝

本

殿

石

の

間

通

ŋ

抜

け

神

事

を

八月

十一

日

か

日まで斎行した。

殿日四国

頃

は

神職

か立ち

入るこ

と

が

Z

n

拝

本

を繋ぐ石

の間に

拝

する

同

神

事

は、

開めし、

が、

今年

は木像鬼神像十三

体

(重

文)

を

一挙

九し、

参拝者を魅了した。

者が訪れる。

展観

沁される

御 行

神宝の

数

々も毎年注目

してこの期間だけの

特別 入り参

事とあっ

て例年多く

・ てた当時の民衆信仰をれ、邪気の侵入を阻んだしゆる衢神・岐神などと称し御神像で、その全てナー祭の护 / 御神像で、その全てが焙祭の折、御本殿深奥の麻・十三体の鬼神像は、巫 な神像群 歴史の表舞台に姿を表すことがな 当宮が邪気消 神社に奉納 除と を今に 唐平 清 だとされ して平 怒の 祓 櫃 成 され 信仰 の 十 伝 形 中 四 一安京の大路小路が相なのが特徴な る神像 えて 。 の て 年 中 いることは極 の v お 菅 Ü 地で であろうこの り、 である。 公 千 発見さ あっ 本 百 的。 来 路 たこと

んだ。

密をさけるため、人数を分けて石の

間

に案内

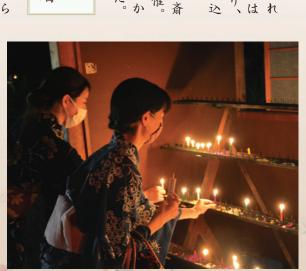
終日

、午後四時の終日の十四日

恒 の北 野七夕祭を斎行 した。

ら献燈された約一五○○燈の提灯に御神火が点された。境内の石燈籠や吊燈籠、さらに天満宮講社の崇敬者か行に向けた機運醸成を図るため、北野萬燈会を開催。八月六日から十四日までは、令和九年の半萬燈祭斎 めて参拝に訪れている。境内一円には七夕笹を飾り、 祭神の御神慮に添い、古来七夕信仰の篤い社であ かさなむ」の菅公御歌に表わされるように、 彦星の 行きあひをまつかささぎの渡 参拝者が様々な願いを込 人せる 橋 当宮は▼

Ξ 石 の h に 多く 抜 け 神 0)



天神様に願いを

国 鬼宝 体 公間 開通 拝 者



北野萬燈会



雲龍図屛風(重文)など御神宝類展示



石の間通り向け神事 鬼神像十三体の公開

する人も相次ぎ、報道各社も取材に訪れるなど、や十三体の鬼神像の前で手を合わせる人、神職に宝類を解説した。御祭神の間近で祈りを捧げる参神職が御本殿内部に施された錺金具や展示された神職が御本殿内部に施された錺金具や展示された

近で祈りを捧げる参

るなど、注口 神職に質問 がされた御!

目問者神

高さを伺わせる神事であった。

手 猛

洗

川

け

後 足

押 0

L

境 燈

内 明

わ

月病

六 退

賑神

手を合わせた。 川を歩き、火を灯した五色の の参拝 和されたことに加え、 困 わ コロナ禍によって昨年、 から十六日まで斎行した。 の御 吾びでした。コロナ収束、娘たちの無事な成長を祈いのほか水が冷たく気持ち良かったです。娘たちも幼い娘二人を連れて宇治市から来たというご夫婦は 参拝者が訪れ、蝉いをみせた。親子 願 難 手 であったが、本年は を 川 祈に 願 足 する をつ 蝉しぐれ 御 け 脚手洗川足つけばて身を清め、, · 連れ 連日の コーロ昨 ゃ の 願いろうそくを奉 学生同士、 願いろうそくを奉納しての中裸足になって御手洗め中裸足になって御手洗りををど多いない。期間中の猛暑が後押し、期間中の猛暑が後押し、期間中のない。 り燈明神事を、無病息災・京 八疫

りました」と話した。 大喜びでした。コロナ収束、 学業大祭を斎行 願

子どもの健やかな成長と学業成就を祈

に合わせて全員が健やかな成長と学業成就を祈願した。詞奏上に続き、参列者代表の子どもが玉串拝礼、これ 奏上に続き、参列者代表の子どもが玉串拝 殿 神前 で親子連れなど約二百人の参列のもと斎行した。 である学業大祭を、 問 の 続き、参列者代表の子どもが玉串拝礼、これに参加者全員の芳名録が供えられ、斎主の祝 神 天神 様に 八月十四日午前十一時 学業向 上 を願う夏休 4 から の 恒 御例

本 神



学業大祭



御本殿に祝詞・読経の声響き 例祭・北野御霊会斎に 北 野天満宮と延暦寺による神仏習合で国家安寧・疫病退散祈る



と天台宗総本山比叡山延暦寺の一山出仕の奉仕 より厳かに斎行された。 令和の北野祭」 九月四日午前十時から御本殿で、 の中核を成す例祭・ 北 当宮神職 野 御

疫病退散の祈りを捧げた。 の声が響き渡り、 は今年で三年目。 ぶりに再興された神仏習合によるこの北野 応仁の乱以来となるおよそ五 神職と僧侶が国家国民の安寧と 御本殿では祝詞と法華経の読経 百五十年 万御 霊会

継がれており、 現在北野祭は、 て一日早い八月四日を北野祭祭礼日と定められた 天満大自在天神」の御神号を賜り、 (一〇四六) 八月五日、 に私祭として斎行していたが、永延元年(九八七) 例祭はかつて北野祭と称され、 の祭儀と執り 一條天皇が奉幣され、畏くも「北野 八月五日が母后の国忌に当たるとし 新暦九月四日を例祭日として引き 当宮では最も重要な祭礼と位置付 行われた。 やがて永承元年 当宮創建の翌年 勅祭として

りに再興した。 有の疫病蔓延の世情に鑑み、およそ五百五十年ぶ 伝教大師千二百年大遠忌法要に呼応し、 きもあったものの実現までには至らず、 中断せざるを得ない状況となり、 連綿と営まれてきたが、 となる菅公慰霊の法会で、 北野御霊会は、 例祭とともに勅祭北野祭の中 応仁の乱によって一旦は 延暦寺の僧侶によって 一時は復興の動 また未曾 一昨年、



田中宮司、新木宮司、 鷲尾宮司、寺井宮司はじめ神社役員・総代など約八十名が参列





玉串拝礼 天台宗宗務総長阿部昌宏師



神社本庁総長石清水八幡宮宮司田中恆清氏 玉串拝礼



山出仕

5

が

唱える法華経や般若心経が響き渡ると、

本殿

法号を唱え、

世界安泰と疫病退散を強く願われた。

御祭神と伝教大師

の

根本伝教大師福聚金剛」と、

々木大僧正は「南無天満大自在天神」「南無 内は神仏習合の独特で厳かな空気に包まれ だ

収まらない

コ 栄

ロナ

禍の収束を祈願。

山出仕による法華三

昧がはじま

h

御本殿前に 次に延暦寺

けられた壇上で佐々木大僧正

が導師となり、

霊会再興時に復元した御菓子神饌

神事が執り行

わ

れた。

宮司が恭しく祝詞を奏上

が供えら

ħ

厳 野 が

皇室の弥

国家国

民の安寧・

世界平和と未

正

宮

司

以下

延曆寺

の佐々木光

澄

大

出仕合わせて約二十人は、

互

歩み

本殿に昇 . 扉が

殿した。

先ず斎主

開

か

れた御

神前には一

昨

年 で

o) 例 に

北 祭

した。 氏 菅家より清岡実子氏、 天満宮梅風会を代表し大阪天満宮宮司寺井種治氏、 宮司新木直人氏、平安神宮宮司鷲尾隆久氏、 総長石清水八幡宮宮司田中恆清氏、 代務者で天台宗宗務総長の阿部昌宏師、 (株式会社島津製作所代表取締役会長)、 (梅風講社講社長) 親男氏(親友会グループ会長)、 ら二十名が玉串を捧 五條為義氏、 当宮責任役員 賀茂御祖神 上田輝 神社本庁 小石原満 久氏 全国 拝 社

師を務めた佐々木大僧正、

わらべ」を奉奏。

宮司の玉串奉奠に続き、

参列された曼殊院門

跡

愛でて詠まれた和歌に曲と舞をつけた巫女舞

華三昧の次は、菅公五歳のみぎり、

自邸の梅

た 例 例祭北野祭. 僧 侶、 会館 北野御霊会の由緒から 参列 で 者を前 直 一会の に 儀 宮司 が 開 が か 挨拶に、 北 北野祭復 参 立集



巫女舞「紅わらべ」



神職と 一山出仕が共に御本殿へ参進



神仏習合で国家安寧・疫病退散を祈る

と謝辞を述べた。

者

と北野祭の中核である御霊会を、

儀

の復興に

取り組んできた。

念頭においた往時の北野祭の姿に再興すべく、

千百二十五年半萬燈祭に向けて、

かつての勅祭を

旧

両社寺の御縁を述べ「五年後に迎える菅公御神忌

、鎮護の神仏として祈りが捧げられてきた」と

斎

国家の安寧、

ならない」と挨拶された。 出度い。 の参詣の中で厳かに執り行われたことは誠に 年ぶりに再興された北野御霊会が、多く あった」と挨拶。 ŧ Α 日 ある麓の坂本に住んでおり、 叡 模様を取材、 の信 う行 本に の。 の参拝者や祈祷奉賽者が訪れ、 端を体に感じることが出来て有り の中に神道がある。 山 続いて導師を務められ 晴れの空の下、 の僧侶の大半は守護神である日吉山王社 は八百万の神々 仰とは何かということを伝えてい 本日の が 今こそ千年、二千年続く精神文化と本 ある また日曜日とも重なり境内は終日 が、この行など神仏習合の最たる 御 霊会は、 また阿部宗務総長は 当日は多くの 比 が 叡山には千日回峰 た佐々木大僧正 おられ、 菅原道真公 神とは近し 御神前で手を合 報 日本人のDN 道 難い 五 陣 の が Ų 真 か の 例 関 六言 方 ね 行 祭 係。

わされていた。

たことは感無量である。ご奉仕頂いた皆様、 の皆様に感謝するとともに、御礼申し上げます 疫病退散を祈ることができ 本日大祭である例祭 延暦寺様と共に 五百五十 限りで が 一比 目 ٤

直会の儀



皇城

鬼門に開かれた比叡山延暦寺。

史を刻

んできた。

平安京の天門に祀られた当宮と

千年の永きに亘り

へ の

想

さらには

明

治

の

神

仏分離

į

で当

天台宗五門

跡寺院の一つ、

曼殊院門跡と共に歴

古文書を繙き復元した御菓子神饌



秋空の

華

を

中

三心

年に

ぶ渡

の列

巡往

行還

に

沿

道が

h 御



一日の神幸祭は、

午前九時から御本殿にて御祭神の御霊を三形を変えて遷されたものである。

なると、 基の御鳳輦に奉遷する出御祭が厳かに斎行された。 野祭」の渡御列が、 祭の祭礼行列は、応仁の乱によって途絶えたかつての勅祭 居前を出発。 や馬車、 の からその名がついた。 で 所や周辺に露店が立ち並び、

八乙女を始めとする稚児、

鳥居前では北野祭保存会・北野神輿保存会による

御鳳輦を中心に獅子・導山・松鉾・

見守る中、 ろから三基の御鳳輦を前に着御祭が斎行され、多くの参拝者が の 満足そうな様子だった。行列が到着した御旅所では、 した。瑞饋祭の豪華な行列を見ることができて大変嬉しい」と に沿道の市民らは汗を拭いながらも足を止めて見守った。 真夏日の暑さとなったが、 担い茶屋」も催され、参拝者は一服を楽しんだ。 この日の京都は最高気温三○・九度と平年を五度近く上 道路には露店が立ち並び、子供たちの賑やかな声に包まれた。 カメラを構えていた男性は「二年間、行列がなく淋しい想いで 八乙女が鈴舞を奉奏した。この日も御旅所境内や付近 抜けるような青空の下を進む巡行列 午後四時ご

による献茶祭が斎行され、

広間にて懸釜も行われた。

二日は御旅所にて午前十時から表千家三木町宗行宗匠の奉仕 午後五時半より神若会北野天神太鼓会による奉納太鼓 参拝者は三年ぶりの太鼓の演奏に盛大な拍手 御祭神と豊国社にお供えされる濃茶 一回る

甲御供奉饌



沿道ではたくさんの氏子や観光客が見守り、

瑞饋祭

は、

御祭神が渡御される御旅所にずいき芋などの野菜

参拝者で賑わった。

飾った「ずいき御輿」

一基の御鳳輦を中心に雅や

一日の神幸祭、

実りに感謝する祭りとして親しまれているが、

現在では御鎮座の往時を偲ぶとともに

神幸祭 •

が奉安され、氏子区域を巡行すること

五

日まで斎行

京都の代表的な秋祭りとして知られる瑞饋祭を十月

御列巡行を伴った祭典は実に三年ぶりとなる。

コロナ禍によりここ二年間神事のみが斎行

一日から

四日の還幸祭ともに青空の広がる好天となり

かな渡御列が氏子区域を巡行した。

また期間中は御旅

表千家 三木町宗行宗匠御奉仕による瑞饋祭献茶祭









を行っ

た。

稚

者奉

十六

h 社

とは

いえ

後四時

童時

里子ら計二十四時半より御本即

四殿

各代表が 人の稚児が 人の稚児が 上

"瑞た。

が礼祭祭八日

し典に乙午

す

詞奏上

のの

児後、通

串

状拝の饋

れ祭

典

け年子輦や

to

各学区

良者、 入念に

次神行

れれた。 々職わ

つ三氏鳳殿

·などの 講

> h で

つ 巡

手のけがに

境瑞



八乙女舞奉納

ボ駐輦所では宮司、 回かって手を合わせ 鎮座の由来を回顧、 興保存会の人々 を中心とした行列は 携わる氏子崇敬者が続々と集まり、 の人々により巡行列とは異なる順路をたどっは御旅所に奉安されていたずいき御輿は西ノ どって本いる人

れ 半 からは御本殿にて后宴祭を斎行。 今年度の瑞饋祭の諸祭儀をすべて終えた。 八乙女の ŧ

で巡行した。

の

鳳輦などの

飾

h

つ

と稚

位賞

八乙

九月二 け

十 兒

四 の

日 ,,

御 御 本

参列する三

基の

五

茶会、 に祭 小典を執っ 四日の

をおく - 饌が斎 は

か

原 七

田

保会宰領 ら西ノ京

ずみ氏奉仕による担い茶屋の献茶、字領 吉積 徹氏が代表して玉串拝礼

七保会による特殊神饌

甲 御

令和四年度稚児奉仕者

水 童 干 子

平安 水岩 木川菅水森岡小保 澤 谷田部 笠 田 上本 内島 田 立原杏子 葵采ひ凛桜志 朱 亮 麗

> 半 裃

衫 尻 浅上 川北 野原 端原 笑伊 快智誠裕朝旭佳 祐晴 顕汰顕陽彦顕郎 都 季登



花傘行列



神若会北野天神太鼓会による奉納演奏



北野天満宮 宮司 京都文化博物館学芸員·北野文化研究所研究員学校法人立命館理事補佐·立命館大学文学部教授

橘 重十九 一本郷真紹氏

八鼎談



今号は、日本の古代史・ 宗教史が専門の学校法人 立命館理事補佐で立命館 大学文学部教授の本郷真 居氏、京都文化博物館学 器員で北野文化研究所 研究員の西山剛氏をお 迎えし、再興した北野 御霊会や北野祭のこと、 千百二十五年半萬燈祭の ことなどについて宮司と 話し合って頂いた。

(構成・編集部

感動を呼んだ北野御霊会の再興

北野御霊会はどんなものだったかをお聞きします。
します。両先生に遅ればせながら再興したことへの感想、かつての北野祭・します。両先生に遅ればせながら再興したことへの感想、かつての北野祭・一昨年五百五十年ぶりに再興して三年目ですが、御本殿内に法華経が響く様によって北野御霊会が盛大かつ厳粛に斎行されました。応仁の乱で途絶え、によって北野御霊会が盛大かつ厳粛に斎行されました。応仁の乱で途絶え、

本郷 北野祭が始まった時の経緯については諸説あるようですが、少なくと西山 殿内に響く法華経があんなに美しいとは、私も本当に感動しました。

宮司 西山 教えて下さい。 したが、 通しだすのは恐らく室町時代における疫病や戦争・災害の有り方と御 それから御霊会なんですが、 **霊会は八月五日に行われました。一日に御旅所へ御神輿を出して四日に還り、** に残っています。 主要祭典には山門の僧侶が出られ、 意義を呼び返してくれるような非常に評価できるものだと思います。 が非常に深く結びついたからであると思います。 霊会と称されるような記録の出方をします。本郷先生の言われる通り北野御 兼ね備わって長い間受け継がれてきたのが北野の伝統的な祭礼の特色です。 ましたが、 も当初は比叡山延暦寺さまと密接な関係のもと、とくに天台五門跡寺院 嬉子 そして一條天皇により勅祭となり八月五日が祭礼日でしたが、 曼殊院の是算上人が菅原氏の出身であり、 そう言って頂ければ大変うれしいです。先ほど是算上人のことが出 私は室町時代を中心に史料を見ていますが、 明治 (後冷泉天皇生母)の国忌に当たるということで一日早い四日に変え 御霊会の方はずっと五日に行われてきました。 神仏分離に至るまで長年曼殊院門跡が別当として当宮を管理 怨霊思想や神仏習合における寺と神社の関係などについて 全体の性格を表すような言葉として御霊会が流 法華経を唱えられたことは幾つもの史 天台の式祭で行われたと思いま 御霊会の再興は、 北野祭そのものが北野御 神祇と仏教、 藤原道長の 双方が ま

◎怨霊思想の始まりは奈良時代から

だそれより三十年ほど前、九州に左遷された藤原広嗣が反乱を起こし、鎮圧が取りざたされたのは奈良時代からです。桓武天皇は悩まれ、井上内親王のお墓を整備されて墓守が置かれます。たた桓武天皇は悩まれ、井上内親王のお墓を整備されて墓守が置かれます。たが夫の光仁天皇を呪ったということで皇后の地位を剥奪され、その子で皇太が取りざたされたのは奈良時代からです。桓武天皇の義理の母、井上内親王が取りざたされたのは奈良時代からです。桓武天皇の義理の母、井上内親王本郷 冤罪で不慮の死を遂げた方の怨念が、至らしめた人に祟るということ本郷 冤罪で不慮の死を遂げた方の怨念が、至らしめた人に祟るということ

れた方の霊を逆に天皇家を守るという風に転換させたのは伝教大師ではない かと思っています。 の霊が取り沙汰されたことが歴史書の ますが、その後広嗣が排斥を願っていた僧玄昉が九州に配されます。 ・早良親王の怨霊に悩まされます。 『続日本紀』に出てきます。 天皇号まで与え、 怖れら 桓武天 広

といっていたものが、あなたを崇めますので、その偉大な力で我々を守って その時に書かれた願文の中で早良親王の霊を始め横死した人たちの霊は、 の縁が深かったのも深部で伝教大師の御心が働いていたのかもしれません。 の法会の場を守ってほしい、と願います。 弘仁三年(八一二)ごろ、伝教大師は比叡山で長講という法会を開きますが ですよ。これが御霊の始まりかもしれません。 それまでは単に怒りを鎮めて下さい 天神さんが天台宗と ے

宮司 そのように言って頂くと納得が出来ます。

たからで、 宮司 や御霊信仰のお話しがありましたが、 そうです。 い時代には真言の方の大きな動きはないですね。 信仰的なことは比叡山だったと思います。 仁和寺さまとのご縁は、 西山先生は? 宇多天皇・上皇とのご縁が深かっ 本郷先生から怨霊思想

公などは非常にマッチする対象です。 付かせるための大きな設備が必要となります。 が実は伝教大師の思想がかなり入り込んでいるためである、 :が起こってきた時、 あれほどまでに比叡山の僧侶が活躍するような筋立てという お話しを伺いました。 必要となるのは実体的な実践の場、 そう考えていくと、『北野天神縁起絵 伝教大師、 そう考えると北野社とか菅 天台の周辺で御 御霊信仰を根 と思うこ 霊

神が天神さまに変わったのは自然の条理

恐らく菅公の怨霊が祟っている、となったのでしょう。それは菅公の大宰府 天神となります。怨霊の神から善神になっていくわけです。先ほどの話を承 るとそこにも延暦寺さまとの深い関係があったとみるべきかもしれません。 大宰府で薨去された菅公の御 様々不測の事態が起こります。 四十四年後にここ天門北野の地に祀られることによって 霊は、 門弟たちによって菅原大神と称し 何故だ? と考えた時

> こり、 然の条理なのです。 守りするのが一番望ましいとなった、 たのが残念です。 新期の神仏判然令で、 の左遷は不合理だという共通認識があったからで、神さまとして崇め 勅祭となり恒例の神事として長い間崇められてきた、 何の不信感もなく何百年も受け継がれてきたのに明治維 仏教の世俗的な一面だけを強調して切り離してしまっ と思います。 その天神さまの祭礼が起 ということは自 7

೬ 西山 揃っていなければ信仰体系 る御霊を巡る技術を使って文字、 来の話を伺っていて少し見方を変えました。 れた段階における延暦寺の力が強かった、という風に見勝ちですが、 北野天満宮の天神信仰は、 『北野天神縁起絵巻』に延暦寺の僧がたびたび登場するのは、 成立当初から神仏融合というか、 絵にして語ったものが絵巻ではなかろうか、 祀りたい側が延暦寺が持ってい 神仏両方が 想さ

す。 宮司 る次第です。その代表的 けてそんな祭典を整えて 千百二十五年半萬燈祭に向 ものが北野御霊会です。 れていた祭典も今、 ほどの祭典を斎行してい えることもできます。 が成り立たなかった、 しかし、昔盛んに行 のもあります。 当宮では年間百七 途絶え 来る と考

です。 **饋祭の二つに分かれてい** りされた方を祀る天神さま りますが、うち一万社が菅 かつての北野 にこの世に現され、 公という、 全国に約八万の神社が 朝廷から崇敬された 例祭・御霊会と 我々と同じよう 今日 神 上



す。 野祭の特徴のようなものがあればお示し下さい。 の姿に再興しようと色々試みている次第です 西 Щ かつての

北 一祭は 荘 厳 の祭礼

₹なものが「ハニ年一請会」という儀式だと思います。三年に一度、から非常な盛り上がりを見せています。その中で、他の神社には、 「柄が古記録から伺えます。 、常に強く感じることができます。 あるいは北野という内部で生成される荘厳、その二つが結び合うのが 一方、瑞饋祭はお供え、つまり神供・御供です。西ノ京からの御供と、 北 対祭の 御神輿の装飾の中でも染織品の要素が重視されているという地 最 破損した装飾品を造り替えるのです。荘厳への美意識を 鎌 その特徴を考えると、荘厳の祭礼だと思ってい 倉時 代の終わり 特に北野の地は西陣を信仰圏として含ん からで、 他の神社にはない とくに足利政権に 御神輿の 特徴 なっ



ことによって一つの新しい きた信仰のエネルギー 祭にしたという意味 でした。 祭礼といえば特定の階級 本 わってきたと思います。 0 0 5 17 ・ます。 、徴的なものだと思います。 |時の北野祭だったのではと思 形 祀り上 民衆の 出来上がった。 奈良時代やそれ以 それ 古代の祭礼の仕 一げたもの 間 が市井の方々が自 から盛 典型 を吸 り上 的 合 天神 を認める 収 上がって のも は 方 L 前 うか さん 祭礼 大き って勅 と変 は、 0

> うです。 です。 でも、 立てて、 道観なのです。 ろに神を信じるという日本人の ことを認め、 う言葉にそれが籠 える「カシコミ、 から畏敬と感謝と畏怖を持つ の還幸祭の方が本来の祭だったよ いましたが、大宰府を御旅所 だ字がなかった縄文の響きを今 神さまに申し上げてい 自然界すべてに霊性がある 御神霊がお還りなる四 け 霊の大きく働 瑞饋祭の話が 元って 神主が最後に ر ح くとこ に 出 る

西山 をお祀りし、 を見物している記録を確認できます。 幸祭なので、 御旅所から還す。 一年で神威 フル充電したものを 権力者は四日 それが四日 が下がっ たも · の 還

宮司 る天神縁起の中で根本縁起と呼ばれています。未完のまま終わってい 六道めぐりなど仏教色のかなり強い部分があります。 当宮の所有する『北野天神縁起絵巻』(承久本、 国宝) ますが またあ

ます。 せ、 本郷 りの世界に入っていく道筋を示す狙いがあったのでは。 土教が盛んになり、 たような気がします。 てつくられ、もし社僧がこれを使って説教したとするなら格好のもの からです。 その上で自分に対する救いをどう求めるか、 六道を輪廻し、 お経を読んで内容を理解させるよりも視覚に訴えた方が 『観無量寿経』を図解 天神さんの信仰が盛り上がっていくのに並 さらにそれを昇華させる。 した『当麻曼荼羅』などもでてき こういうことを目的とし つまり 現状を十 迷 の世 理解させや 分認 行 界 して浄 から であっ

西山 したり、 その根本縁起を使っ 読み聞 かせたり、 ر ا たのかどう った記 かは 録 は 北 わかりません 野 天満宮に 残っ 7 玉 ます。目の武将に貸

する

ところです

だ 震 ま 本

皮

地 n

で縄文文化は

す

に恵まれ

た日

れば面 代という曼殊院系の社僧の担当者 :縁起を使って何をしたか、 白いです。

先ほど宮司さんが、一 が ?宿る、 木

なく、

そうしなければなかなかわからない精神性、

きた元の形でやってほしいです。

それはただ単に伝統を守るということでは

なるべく受け継がれ お聞かせ頂きた

改めて天神さまの信仰の

持つ意味合いを知る、

改めて天満宮の祭礼が受け継がれてきた意義を、皆さんに感じ取って頂きた

ですから可能な限り大祭の時は古儀に則ってやってほしい。

というのはまったく私もその通りだと思っています。

それを通じて、

本郷

ているところですが、これに向けてのご提言があれば、

これまで宮司さんがなされてきたことですが、

教義的に相容れるものがあったの こうのというのではなく、 比叡山延暦寺が天満宮を大事にし 悉有仏性です。ですから天台系の 師 とを仰いましたが、それは伝教大 べてのものに仏が宿る一切衆生 仏教諸勢力のバランスがどうの の考えに近いと思います。 ということは、 いように思います。 受け止めた方が理解 というようなこ ただ単に当時 やはり

宮司 てご意見があれば。 今後の神仏習合のあり方につ 最 初の話しに戻りますけ



西山剛氏 いと思います。

٤ 西山 のも考えて頂きたいと思います。 古儀に則りながらやって頂くわけですが、 であるということが非常に大きく作用していると思います。 て今では非常に重要な神宝になっている。そういう神宝の連鎖のようなも として入っています。 起こっていることが確認できます。それは北野さんが文化の神、 いうのは屈指の名宝をお持ちですが、 萬燈祭の歴史を紐解きますと、 当時の一 流の絵師が描いたものが百年、 文化的な行事があってよいと思います。 実はそれらの幾つかは萬燈祭を契機 ぜひ文芸や芸術に深く根差したも 祭儀はもちろん 百五十年経 芸術の神 0

宮司 両先生から示唆に富んだ提言を頂き感謝致します。 有難うございました。

千百二十五年半萬燈祭に向けての提言

「可能 「文芸・芸術に根差した催しを」 な限り古儀に則り斎行を 西山氏氏

. な教団と共存できます。さて、千百二十五年半萬燈祭に向けて準備を進 道はわれわれの生きざま、 生きていることが神道です。 だから め ろ

> 郷 真 「紹(ほんごう・まさつぐ) 氏 略

大阪市生まれ

手を合わせるのは自 対立する要素を

京都大学文学部卒業

京都大学大学院文学研究科博士課程学修退学

富山大学人文学部助教授

持っているもの同士がいっしょにやりましょう、というのが日本の特色です。

かし、天満宮で手を合わせることに違和感はないと思います。

日本は大いなる和、

大和の国です。

日本人の大半は家の宗教を持っています

然の行為です。なぜ聖徳太子が和という言葉を使ったのか。

仏教教団でも宗派によって温度差がありますが、

九九六年 立命館大学文学部助教授

専門は日本古代史・宗教史。 1000年 研究テーマは日本古代の王権と宗教など。

西 山 (にしやま・つよし) 略 歴

九八〇年 大阪府柏原市生まれ

一三年 総合研究大学院大学博士後期課程満期退学

100七年 東京大学史料編纂所リサーチアシスタント

一〇〇八年 国立歴史民俗博物館リサーチアシスタント

二〇〇九年 目黒区めぐろ歴史資料館研究員

専門は日本中世史・都市社会史。 1010年より 京都文化博物館 学芸員 (現職) 研究テーマは祭礼を中心とした北野天満宮の文化史など。

宝物殿 の特別公開 出 展

書肆 神 に奉納された『天神

納められ、 という人物により、『天神記圖會』の製 本のサイズに準じている。 とめてある紙型も、まさに出来上がった もに奉納された版木や四頁分を一枚にま ルの文庫版より一回り大きな仕様で、と 本二冊とその紙型と板木一式が木箱に 一八・〇×一三・〇×一・七センチメート 巻末に記された書誌情報ならびに奉納 明治四十一年九月二十三日、 当宮に奉納された。製本は、 中村浅吉

物内容の詳細は以下のとおりである。



北野祠僧蓮了著 『天神記圖會』 明治35年3月25日

和側面1

書肆 風翔堂

(書誌情報)

発行年:明治三十五年三月二十五日

著 者:北野祠僧蓮了(故人)

印刷者:須磨勘兵衛(京都市下京区五条通高倉西入万寿寺町十番戸) 発行者:中村淺吉(京都市上京区富小路三条北入福永町二十八番戸)

印刷所:図書出版株式会社(京都市下京区油小路松原上ル麓町十二番戸)

賈捌所:風月庄左衛門(京都市上京区二条通衣棚角)

発行所:星野文星堂(名古屋市宮町一丁目)

【奉納物詳細】箱に墨書にて記載されている

箱蓋表

紙型 天神記圖會 全部 三拾三枚 六拾七校

画校 製本 貮部

発行者 中村淺吉

中村風祥堂 中村淺吉印 北野神社蔵書印

明治四十一年九月納 **箱側面2** 献納 中村淺吉

富小路三條上ル福長町

中村風祥堂





画校(版木)



奉納箱蓋

【菅公一千年萬燈祭に合わせ刊行】

に納められ残されていることが確認できた。 どおりに、紙型六十七枚、画校(版木)三十三枚が箱 ものと考えられる。内容物は製本一冊を除き、 らく付帯事業として萬燈祭の斎行にあわせて刷られた 祭である菅公一千年萬燈祭の日程と重なるため、 書籍の発行年である明治三十五年は、 当宮の式年大 箱書き おそ

版物である。 した当時の天神信仰の様子がうかがえる大変貴重な出 れたものである。神仏分離前夜の北野神社自らが刊行 応元年(一八六五)に官許を得て北野文庫より発行さ の社僧であった蓮了という人物が記したもので、 末の元治元年(一八六四)六月(菅公誕生月)に北野 書籍の内容に関しては後述するが、本書は江戸時代 翌慶

紙型と版木を伴い再版可能な形で奉納

ことである。 は、いつでも再版可能な状態一式が奉納されたという を伴い奉納された『天神記圖會』。その意味するところ 製本となった書籍のみならず、 紙型と画校 (版木)

り昭和四○年代頃に至るまで使われていた鉛活字を再 献納者の中村風祥堂も名所図会や神仏関連の偉人の伝 年代の京都は大変出版業が盛んであった時期にあたり、 形成するための紙による型紙のことをいう。明治三十 記などの出版を担っていたようである。 紙型とは、活版印刷の発展とともに、明治十年代よ





が認められる。 も墨がついており、 の一枚の計六十七枚。 実際に溶けた鉛を流し入れ活字を作った痕跡が窺 挿絵は木版と分けられている。画校(木版)に 紙型の中に版木は組み込まれておらず、文字は 図焼け跡の残る紙型同様、 紙型には焦げ跡も見られ(図参 ている半分の と、二頁分が 大きさのも 紙となっ 使用跡

紙型、 える。

【書籍内容に関して】

本(十巻分を収 『天神記圖會』 は 元々は \neg 天神垂 跡要記』 Ŧi. 冊

内部の小見出し 記』の表紙の題箋 る。『天神垂跡要 の再版書籍であ 発行された書物 作成、翌慶応元 として版本で刊 れ二巻分を一冊 十のうち、それぞ であり、 は天神垂跡要記 は『天神記圖會』、 年(一八六五)に 元年 (一八六四) 録)として元治 巻一~巻



『天神垂跡要記』

などを記している。

のが六十六枚 なっているも 紙型は、 分が一紙と 奉納された 四頁 文字が見られる。 本の発行は北野文庫。最終巻末に「北野文庫」

価を得て、治宝の命で絵画制作を担当するようになっ たようである。天保九年(一八三八)頃から、紀伊藩 を描くなど京都と紀伊国を行き来しながら活動してい の挿絵を描き、京都祇園祭の長刀鉾の欄縁金具の下絵 ても活躍。天保四年(一八三三)頃、『紀伊国名所図会』 で、菱川清春の名で版本挿画を手掛ける浮世絵師とし 隆(一八〇八―一八七七)という京都出身の大和絵師 ―一八五九)とされている。 た。師匠は北野大茶湯図を描いた浮田一蕙(一七九五 十代藩主の徳川治宝(一七七一―一八五二)の高い評 (社僧)の蓮了、挿絵は岩瀬蕙谷。 『天神垂跡要記』(天神記図会) の著者は北野 岩瀬蕙谷は岩瀬広 7祠僧

【書物の内容】

頭の凡例において蓮了は、

)本書が世上に流布する菅公に関する妄説や筆者 思い込みによる曲解など様々な誤解を正そうとし て書かれていること 0

○歴史上の縁起絵巻等読み解いた上で選出し、一般 わないこと) 上奏文、宣命等を掲載しているが読み飛ばして構 ように漢字ではなく仮名で記したこと(漢詩、祭文) の人々にわかりやすいように多くの人々に読める

○当宮に伝わる秘説など漏らしてはならないものは 省いたが記述可能なものは記していること

○菅公の御事績を語るには神道のみならず、 (神道・儒教・仏教)の三道をよく弁えて行うべき そうして初めて菅公・天神を理解できる 神儒仏

に、当宮と長

字の種類は変えてあるが、本文・図版含め内容はほぼ江戸時代末に発行された五冊本を一冊にまとめ、活 ,時代末に発行された五冊本を一冊にまとめ、 活

あった。 味深い内容で 物語る大変興 あったことを しいもので 垂迹関係が近 谷寺との本地 相違ない。 (一部画面の縮小が見られる。)

0)

菅原氏系図

菅公の御事績 誕 生 降臨 説をとる― か 5

讃岐下向・阿衡の紛議まで)

巻三は * 実父の名前は宮本の秘説として伏せられ 菅公の御事績 (讃岐下向より宮中にて恩賜

の御衣をいただくまで)

巻四は で 菅公の御事績 (左遷から薨去、 時平抜刀ま

造営、 の御幸、 巻五は 涼殿落雷、 十九社成立まで 菅公の御事績 北野祭の歴史、 日蔵上人六道巡り、 神輿、 (菅公を右大臣に復すから清 秀頼公による慶長の大 北野社創建、 歴代天皇

巻八は 巻七は 巻六は 菅公の御事績 菅公の御事績 菅公の御事績 (本地霊験之部下) (本地霊験之部上 (本地仏、長谷寺縁起)

巻九は 菅公の御事績 菅公の御事績 (垂迹霊験之部下) 垂迹霊験之部上

寺の十一面観音と、この十一面観音を本地とする北野 意識する以上 離がなされる以前の江戸時代末において、現在我々が 以降が菅公真筆と伝わる長谷寺縁起から始まり、 ている。内容として意外性があり特筆すべきは、 まとめられ、大変整理され読みごたえのある一冊となっ 天神の霊験譚が書き連ねられている点である。神仏分 この様に天神信仰の誕生から霊験譚まで過不足なく 長谷 巻六



巻末

学 蕳 0 神 を繙 < 文道 大祖 風 月 本主 から書 肆 0 神、 学 問 0 神 さま

宝物殿特別展「学問の神さま―新儒仏の信仰」展開催に合わせ改めて繙きたい。 菅公の御事績から薨去後のさまざまな事柄を経て、現在学問の神としても篤い崇敬をあつめるその信仰の背景を 前 頁で取り上げた一式の奉納物の背景には、 書肆 (書店・本屋) の神として崇められてきた当宮の歴史がある。

【神童菅公と私塾 「菅家廊下」 の伝統

紅の色なる梅の花あこが顔にもつけたくぞある」を、 歳にして漢詩「月夜に梅華を見る」を詠んだ神童 原道真 公 (菅公) は、 五歳にして和歌「美しや

といえる。 仏の信仰と道徳であった 立っており、菅公の学問 とは神道・儒教・仏教の の基礎となったのも新儒 三道に帰するもので成り 世している。当時の学問 を記し、最難関と言われ 暦寺円仁の『顕揚大戒論』 二十二歳にして比叡山延 加え仏教にも造詣深く、 る文章博士にも順調に出 であり、 詩歌の文才に

鎌倉時代

あちしていなったちょうい

米利水面南で深 玄真林頓見る方

月班如晴雪 梅花四照号 寸便个致湯

うりには年十一次小りりた

者の家柄であり、 過言ではない菅公を輩出 下を開放して学問所とし し多くの門弟を輩出して を務めていた。 である是善公も文章博士 祖父にあたる清公公も父 ていたここは、 れる私塾・学問所を主催 は、「菅家廊下」と呼ば した菅家は、もともと学 た。その名の通り、 不世出の天才といって また菅家 菅原家の 菅公の

> 堂が組織され師弟のみならず幅広く地域の教育に寄与 ものとして組織されたものである。 ものと言えるだろう。 お祀りする当宮において、宮仕の学問所である北野学 していたのは、こうした菅家廊下からの伝統に連なる 貴重な蔵書なども開放していたともいわれる。菅公を また当研究所もその末に連なる

類 聚国 史編纂等 歴 史を編む

ち、 『日本三代実録』を 紀』から『日本文かれた『日本書 体を収録)を神祇、 補完し、 徳天皇実録』まで 史書の編纂にも携 帝王、歳時、音楽 の五国史(のちに わる。編年体で書 菅公は 学者として歴 六国史全 長じて

巻

少年時詩作

在は六一巻が現存しているが、 成立させている。残念ながら応仁の乱以降散逸し、 で根気のいる仕事であったが、寛平四年(八九二) 公の編になるものである。全二○○巻にもおよぶ膨大 纂しなおし、検索の便をはかった『類聚国史』は、 など項目ごとに編 大切な史料となっている。

崇敬し、この『類聚国史』に倣い、 初期までに成った史書や文学作品、 江戸時代、全盲の国学者塙保己 は、 古代から江戸時代 計一二七三種を収 菅公を大いに

たことが窺える。 その御事績が後の世まで学問の世界で影響を与えてい 8 【文道大祖 『同様に分類した『群書類従』(六六六冊) **…霊信仰としてはじまった天神信仰であるが、** 風月本主 -詩歌の神そして学問の神

を編んだ。

との表現が表れる。それからさらに二十五年ほどのち の中で菅公を「文道大祖 風月本主」と称え、 の寛弘九年 (一〇一二)、文章博士の大江匡衡の願文 滋保胤の当宮への願文のなかに「文道之祖 詩境之主」 た寛和二年(九八六)、当時文人として名高かった慶 元年(九四七)の当宮の創建より四十年あまり経っ 詩歌

なく文道・学問の神として菅公を崇める共通認識が社 前の菅公の文才や技芸を讃え、恐れ敬うべき御霊では 会に現れたとみられる。 菅公の薨去後百年余りを経た平安時代の末には、 上達を願う表現が見られるようになる。

軍家の面々も、菅家文草を手元に置くなど詩歌の神と 草』は広く世間に読まれ、江戸時代においては徳川将 しての菅公に尊崇の念を持っていたという。 また菅公が醍醐天皇に献じた自身の漢詩集 『菅家文



群書類従と和本

渡唐天神 連 歌の神

詩歌の神、 の際には、 渡唐天神は、 描かれる仏教の奥義を会得した菅公の姿であり、この 新たな側面が付け加えられる。 く信仰をあつめるようになる。 室町時 代には、 文道の神、そして新たに連歌の神として広 渡唐天神の軸をかけて行うのが常であり、 連歌の神としても崇敬を集めた。連歌会 禅宗の隆盛とともに菅公への信仰に それが渡唐天神の姿で

【寺子屋における天神信仰 -学問 0 神

古代史研究に欠かせな

現

としての菅公の存在は決定的となる。 江戸時代になると寺子屋の普及と共に「学問の神」 寺子屋には天神

成就や書道の上達を祈る風習が全国的に見られた。 た菅公の御命日である二月二十五日には、 像がかけられ、その前で子どもらが学問に励んだ。ま いって、床の間に天神様の軸をかけ、供物をし、学業 天神講と

てであることが暗示されているが、当時の寺子屋の様 んじゅてならいかがみ)』の中の寺子屋の場面の見立 松・竹・梅が配され、『菅原伝授手習鑑(すがわらで 打つ姿などが描かれている。この絵の中には、各所に で学問・書道に打ち込む子どもたち、法楽として碁を 前にお供えをしてお祈りする子どもや、天神様のまえ 江戸時代の天神講の様子を描いた浮世絵には、 軸の

ある。 としても貴重で 子を表す風俗画

飾られ、 像と孔子像が一 初めには、天神 都の近代教育の に至っても、 ていたという。 る様子を見守っ たちが学問をす の教室で子ども たばかりの学校 学神として対で また明治時代 始まっ 京



奥村政信筆 浮絵天神講 江戸時代

東京国立博物館所蔵 Image:TNM Image Archives

の神 出 版と奉納書籍と御文庫組

を奉納すると「千本ぶるまい」といって千冊売れると 屋)の神としても篤い崇敬を受けてきた。天神様に本 書肆の間で噂され、 公と書の関係も深まっていく。そのような背景もあっ その著作が版本で刊行されるなど、学問神としての菅 まな著作を残されたが、出版が行われるようになると 学問には書物がつきものである。菅公自身はさまざ 江戸時代初め頃より当宮は書肆(書店・本 いつしか新刊は必ず北野社に奉納

> 崇敬を寄せる書肆らの集まりは、「京都書林御文庫組」して初めて世に発売する風習となったと聞く。当宮に なっていた。 なる講組織に発展し、 梅椿坊がその御文庫組の宿坊と

随して行われる神饌奉奠(書籍を三宝に一台、米五合、庫の虫払(虫干し)を行う。書籍の奉納とその際に付 として供え、当直が奉仕したとされている)を行うな 話人を三名ずつ決め、毎年九月ごろ行われたという文 と伝わる。まず月当番を選んで月詣をなし、年番の世 どであった。 神酒一升を一台、小供物三十五、小御札三十五を一台 御文庫組の役割としては、次のようなものであった

その他事故によって書籍の再版を為したい場合に貸し 出されることがあり、奉納には再版を可能にする予備 方策としての役割もあったようである。 なお、奉納された書籍は、火災等による版木の消失

る。しかしながら、明治時代の末ごろには次第にこ き継がれ、奉納書籍が増えるに従い、文庫創設の必こうした風習は江戸時代から明治時代にかけて引 うした風習は廃れていってしまったようである 要性が生じ、江戸中期に後述の二つの文庫が成立す

【北野文庫とは

近世、 ○北野学堂文庫:元禄十六年(一七○三) 〕北野書蔵:元文五年(一七四○) 成立 祠官松梅院所管の文庫 宮仕管理の文庫 所在: 御本殿北 北野天満宮には二つの文庫が開設された。 所在:神楽殿側 成立

店が三○○点以上を献本している。貴重書も多数奉納 り『四書直解』二十冊が、元禄十五年(一七〇二)に されており、元禄二年(一六八九)には徳川綱吉によ く、寛保三年(一七四三)五月、『北野天満宮奉納書目』 重書が奉納されてきた。ことに書肆らによる崇敬は篤 (写本:京都学・歴彩館所蔵) によると、一二七軒の書 文庫には、書肆、作者、そして貴人らから多くの貴

は現在重要文化財に指定されている『日本書紀』が

も、現在の北野文庫十万冊に至る蔵書が形成されて いった。 数々の書籍が奉納され、 そのほかにも江戸時代から明治時代中頃に至るまで 集積と散逸を繰り返しながら

居の縁に移築されている。 三年)の際の宝物殿建築にあたり御本殿の南西 *現在の北野文庫の建物は菅公千二十五年大祭 昭 御土 和

北野文庫による出版事業

北野学僧宗淵による校訂が入り、 易』『論語』『孝経』『蒙求』(まさに儒学の書)などは、 版本も発行された。特に、北野版をもとに京都の書肆 重書を原本とした北野版(学堂版)と称される学堂蔵 に刊行された『天神記圖會』もそうした流れの一つに なっていたようである。 石田治兵衛により刊行された『尚書』『毛詩 (詩経)』『周 位置付けられる。また北野文庫に納められた多くの貴 広く世に向けての書籍の刊行なども行っており、 宮仕 の連歌道場であった北野学堂は、 大変貴重な出版物と 教化の目的

変珍しい事例ではないかと考えられる。 という事例は見当たらず、書肆らの信仰と合わせて大 管見の限り、 紙型や版木も込みで書籍が奉納される

する約十万冊の中から選りすぐりの貴重書とともに 版木は、宝物殿秋の特別公開にて、北野文庫に伝来 て振り返る機会となれば幸いである。 初公開する。学問の神としての菅公の御事績を改 書肆らの信仰を物語る『天神記圖會』とその紙型、

【主要参考文献】

竹内秀雄『天満宮』吉川弘文館 一九九六年(初版一九六八年) 和歌山県立博物館ニュース 北野神社編『菅公頌徳録』北野神社 上田正昭編『天満天神』筑摩書房 一九八八年 一九四四年

http://kenpakunews.blog120.fc2.com/blog-entry-698.htm

北野大茶湯図 浮田

はの格式ある一連の催しである 内で開催した空前絶後の「北野大茶湯」の故事を今に伝え偲ぶもので、 十一月下旬から伝統に彩られた行事や神事が繰り広げられる。 豊臣秀吉公が当宮境 当宮ならで

毎

年十二月一日に斎行する「献茶祭」に向けて、

茶の湯と御縁深い当宮では

数多の茶席が並んだ天正の一大文化行事 北野 大茶湯

などに詳しく書かれている。 空前絶後といわれる大茶会の様子は、吉田神社の祠官吉田兼見卿の日記『兼見卿記』 数々の名品の茶器が展観され、 を問わず茶好きの者に参加を呼びかけ、八百とも千六百とも云われる茶席が並び、 市中・畿内の各所に高札が立てられ、貴族・武家のみならず、 休居士・津田宗及・今井宗久の三大宗匠らとともに亭主を務め、 において催した茶会であり、『広辞苑』に一項目あげられるほどの大茶会であった。 北野大茶湯」とは、 天正十五年 (一五八七) 十月一日、 名だたる武将や公家らがお点前を楽しんだと伝わる。 時の関白秀吉公が千 商人や農民など身分 当宮境内北野松原

文化にとどまらず、 また茶だけでなく、 大文化行事であった。 日本が世界に誇る文化・伝統の形成に非常に大きな影響を与え お花や菓子など茶に欠かせないものも広く披露され、 茶の湯

茶祖」「茶聖」 と崇められる菅公

として崇敬していたことがこの地で開催された一番の理由である。 るものではない。秀吉公をはじめ千利休居士らが菅公を「茶祖」 菅公が編纂され、寛平四年 史上最大の大茶会「北野大茶湯」 が、 北野天満宮の神域で催されたのは偶然によ あるいは 茶聖

(八九二) に完成・成立した歴史書『類聚国史』

0



西方尼寺に遺る千利休居士が用いた利休井戸



豊臣秀吉公が催した『北野大茶湯』ゆかりの太閤井戸





御茶壺奉献奉告祭・口切式

その抹茶を用いて十二月

日の献茶祭を迎えるのである。



ているのも、

その始まりは菅公ゆかりと云えるのである

広められたという影響は大きく、

神前に献茶をする祭儀を始められたこと、また茶飲を習慣とすることの意義を

中でも菅公が茶の故実を自ら調査研究さ

現在全国各地の社寺仏閣にて献茶祭が執り行われ

茶に関する記述が随所に見られるが、

名器を用い、 び開催され、 れているが、 治十九年には大茶湯三百年、 室松向軒には細川三斎公使用の井戸 士が用いた「利休井戸」 楼門前 境 内 の中 に 残 往時を彷彿させる大茶会を催した。 とくに三百五十年の際は 「太閤井戸」を取り込んだ天正舎という大茶室が設えられ、 ノ森には る 天 正 「北野大茶湯」 が遺るなど、 0 昭和十 潰 構 「三斎井戸」 一年には三百五十年の記念献茶式が大々的に開か 天正の名残を伝える遺構が数多く現存する。 で使われた「太閤井戸」 「昭和大茶湯」と名打たれた茶会が五日間に及 現在でも明月舎・松向軒の二つの茶 が、

また上七軒西方尼寺には利休居

明

が

0

為居西

側

0

茶

壺 奉献 奉告祭並 C に 切 式

御

茶

室では毎月月釜が掛けられている等、

お茶との御縁は今も受け継がれている。

名幅を飾り、

に盛られた緑鮮やかな碾茶が披露される。 められ御茶壺道中によって古式ゆかしく御神前に献上される。 祭典後は、 城六郷の各茶師 月二十六日、 献茶祭保存会役員奉仕による茶壺の口切式が慣例となっており、 恒例の御茶壺奉献奉告祭並びにロ切式を斎行する。 ・茶商の手により奉納された碾茶は、 奉納された碾茶はすぐに抹茶に挽かれ 各茶産地ごとの茶壺に

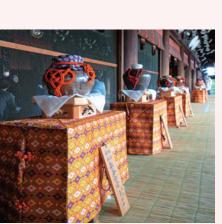
茶祭今年 は 堀 内 家 長 生 庵 堀 内 宗完宗匠 0 奉 仕

献

例となっており、 からお参りに来られる参拝者や雅客で境内は終日賑わいを見せる。 広間に拝服席、 また絵馬所では京都の老舗和菓子店二十店で組織される「菓匠会」 二月 日に斎行される献茶祭は在洛の四家元二宗匠の輪番で行われることが慣 明 (月舎に本席、 本年は堀内家長生庵堀内宗完宗匠 松向軒や上七軒歌舞練場等に副席が設けられ、 のご奉仕となる。 による飾り菓 当日は社務所 各地

子がこちらも三年ぶりに展覧され、

職人が手掛けた和菓子を楽しむことができる。



御神前に献上される御茶壺



古式ゆかしく御茶壺道中



茶室松向軒に遺る細川三斎公が用いた井戸

ライトアップされたもみじ苑と NAKED GARDEN

を盛り上げる。



苑する。

境内西側

帯に広がる史跡御土居のもみじ苑を、

本年は十月二十九日より

周

史

居

行 事 \$

E 2

年ぶりに催

行

ている。 性が薄れて各地で取り壊されていくなか、今でも市内九か所が史跡として遺っ る土塁、外敵の侵入や当時氾濫の多かった鴨川・紙屋川の水防として、 ており、一斉に色づいた景色はまさに圧巻。 されている点において評価が高い。 中洛外の境界としての役割を担ったと伝わる。しかし時代の変遷とともに必要 がこの御土居築造であった。 豊臣秀吉公が天下人となり、 当宮の御土居は現存する中でも最大級且つ、 望できる展望所など、 総延長二十二・五キロにも及ぶ、京の都を一 都の整備事業を行う中で主要事業とも呼 京都随一の紅葉の名所として初夏の青もみ 御土居内には約三百五十 紙屋川の水面に映る紅葉や当宮の 当時の姿そのままに保存 本の紅葉が自生し また洛

想的 な世 |界が広がるライトアッ

幻

じと共に広く知られる存在となった。

みじを楽しむ参拝者で賑わう。 十一月十二日からはライトアッ プによる夜間特別拝観も始まり、 秋 の夜長

クションマッピングによる光のアートと香りの演出がもみじ苑と融合する。 掛ける回遊型アートプロジェクトである。従来のライトアップに加え、プロジェ ジェクト」を実施。この催しはアーティスト村松亮太郎氏によるプロジェク 今年は昨年に引き続きもみじ苑内の舞台に参加型アート「ダンデライオンプ 本年のもみじ苑公開期間中は他にも数多くの奉納行事を執り行い "として捉える趣向で、 N A K E D える趣向で、同時多発的に様々なエンターテインメントを仕GARDEN ONE KYOTOと称する街全体を一つの

公顕彰 和漢朗 詠 0 曲 水 0

時代から続く雅な宴。奈良時代・平安時代には宮中を中心に盛んに行われ、宇小川に酒を注いだ盃を流し、それを取って飲むと共に題に即した詩を詠む奈良十二回を数え、紅梅殿船出の庭にて雅やかに開催する。曲水の宴は庭を流れる平成二十八年に千有余年ぶりに催行した和漢朗詠「曲水の宴」は、今年第



京都連歌の会 もみじ連歌奉納



紅梅殿にて白拍子奉納



曲水の宴にて詩歌を詠む



别 コ



露の五郎兵衛一門によるもみじ寄席



初代露の五郎兵衛碑前祭

る。

多天皇に重用された菅公も幾度も宴に招かれ、その際に詠まれた詩文が今も遺

「和漢朗詠」という独自の形式で実施する。

い男性が漢詩を

女性が和歌を詠む 今上 北 通例では和歌を詠むことが多いが、当宮では他に類をみな

に

基

<

様

々

な

奉 納

行 事

b 野

舞

日本舞踊奉納

門前花街として当宮と縁深い上七

軒

歌

例年多くの参拝者

がカメラを構え雅な踊りを楽しむ。 会による日本舞踊の奉納が御土居特設舞台にて行われる。 みじ苑ライトアップ初日に合わせ、 七軒歌舞会 0 歴 史と信仰

歌会」を張行するのを恒例としている ◇京都連歌の会 もみじ連歌会 のひとつ。 連歌は古来御祭神菅公慰霊の法楽として、 京都連歌の会は年に二回、 春

0

「梅ヶ枝連歌会」

当

宮で盛んに行

」秋の「もみじ連われてきた重要儀

◇天神真楊流柔術 演武 奉納

引き続き、 ◇露の五郎兵衛 迫籠る技の数々を奉納する。 柔術をはじめ、 境内中ノ森にある初代露の五郎兵衛碑におい 戸時代後期、 露の五郎兵衛一門による「北野天神もみじ寄席」 古武術四流派が奉納演武を行う。 門 当宮に参籠祈願した紀州藩士によって創設された天神真楊流 もみじ寄席 てその偉業を偲ぶ碑前祭を斎行 武神と崇められた天神様に気 が文道会館ホー

年 الخ 本 n 中 0 蔵 厳 選 元 より 梅 酒 ま 梅 酒 つ を h 開 奉 納 催

て行われる。

門の落語家が古典や新作で一

席伺う北野の秋の風物。

ル

肯

三十日 午前十時

第六回ものづくり

月

吉

時

全国梅酒まつり品評会・表彰式

三日~六日

三日 午後| 六日 午後三時

> 曲水の宴 厳選梅酒まつり

北野天神太鼓会 和太鼓奉納

もみじ苑 ネイキッドガーデン ダンデライオンプロジェクト

開催される。 第四 回となる 厳選梅酒まつり in 京都」 が ~ 月三日より六日までの 四 日 間

十二日~二十七日

十二日 午後一時

上七軒歌舞会 京都子ども観光大使

日本舞踊奉納

三年ぶりの開催となる。 願 ていたが新型コロナウイルスの影響により、二年間自粛を余儀なくされ、 京都府・京都市など行政等の後援を受け行われている。 た梅酒を御 この行事は、 にお好みの梅酒の説明を聞きながら試飲する会場や即売会も行われる。 イン「梅銭」 梅酒の愛好者で組織する梅酒研究会 神前 を購入し、 平成二十九年より梅と御 にお供えし、 梅酒まつりに先立つ二日には、 ホワイトリカー部門や焼酎部門等様々なカテゴ 品評会並びに表彰式が行わ 縁 深 (明星智洋代表理事) 61 天神様の総本社 れる。 全国の蔵元より集まっ 例年大勢の人で賑わっ 期間中は専用 で梅酒の が主体となり 普及 本年 リー

士月

日 午前十時

献茶祭 露の五郎兵衛一門

堀内家長生庵 堀内 宗完 宗匠

一十七日 午後三時 |十六日 午前十|時 |十五日 午後六時 |十三日 午前十時

御茶壷奉献奉告祭・口切式 北野天神太鼓会 和太鼓奉納 二十日午後一時

午後二時

天神真楊流柔術 演武奉納 京都子ども観光大使 京都連歌の会 もみじ連歌奉納

-九日 午後一時



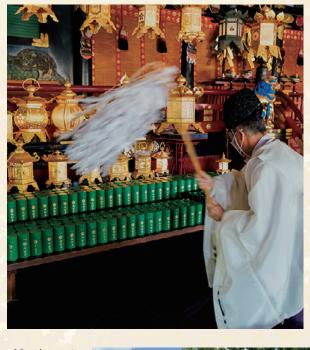
天神真楊流柔術の奉納演武



上七軒歌舞会による日本舞踊

北野の祭典・行事祭典・行事

生産地から奉献の新茶を供えて



行した。 一十五日午前十一時から御本殿で新茶奉献奉告祭を斎一十五日午前十一時から御本殿で新茶奉献奉告祭を斎

縁から茶業家からの崇敬がことのほか篤い。よって空前絶後の大茶会『北野大茶湯』が催されたご天正十五年(一五八七)、当宮境内で豊臣秀吉公に

無病息災、茶業家の安全と益々の発展を祈願した。銘茶生産地から奉献された新茶が供えられ、生産者の醍醐・伏見・向島・綴喜・山城・南山城・信楽などの観神前に宇治・宇治田原・木幡・城陽・佐山・京田辺・

恒例の夏の消防訓練を実施文化財を守れ!



恒例となっている 夏の消防訓練を八月 一日、上京消防署、 上京警察署と連携 上京警察署と連携 上京警察署と連携 上京警察署と連携 と、境内で実施した。 の想定。火をつけた が火犯は直ちに上京 消防隊員が放水銃な どで初期消火に当た り、まもなく到着し た上京消防署員と共

に放水を行った。

化財を守る上でも非常に重要だ」と、講評を行った。力し、それぞれの役割を果たすこのような訓練は、文が整列し、上京消防署の千代田文明署長が「三者が協三十分の訓練を終えた。訓練後、東門内に参加者全員宝物類の搬出や負傷者の救出も迅速に行われ、約

奉賛活動現況奉告祭を斎行 天満宮講社

の御奉告と共に、講社員の無病息災を祈願した。お供えし、千百二十五年半萬燈祭に向けての活動状況時半から御本殿で斎行した。講社員の名簿を御神前に天満宮講社奉賛活動現況奉告祭を、八月七日午前十

天皇皇后而陛下英吉利国

行幸啓安泰祈願祭を斎行した。当宮御本殿に於いて、天皇皇后両陛下英吉利国御渡航へ御訪問遊ばされた同十七日に合わせ、午前十時よりたことを受け、天皇皇后両陛下が葬儀参列のため英国、英国エリザベス二世女王陛下が九月八日崩御され

下英吉利国御渡航還幸啓奉告祭を斎行した。を御祈願し、還幸啓された二十一日には天皇皇后両陛また、この日より御滞在期間中は日々両陛下の安泰

国葬に御参列遊ばされた。 両陛下は十七日に英国ロンドンに御到着、十九日の

秋晴れの下、安楽寺天満宮で

崇敬者らが参拝した。
当宮神職奉仕のもと、氏子当宮神職奉仕のもと、氏子当宮神職奉仕のもと、氏子

の地で薨去せられた後、家実の罪により、九州大宰府と、当宮御祭神の菅公が無く、当宮御祭神の菅公が無

、 宰が 無古 子 宗 所 無 古 氏子 楽

敬者らの安寧と五穀豊穣、益々の弥栄を祈念している。岸祭そして秋のお彼岸祭を厳粛に斎行し、西ノ京氏子崇「宮では現在、北野天満宮神職が元旦祭、春のお彼公手彫りの木像をお祀りしたのが始まりと伝わる。臣らが帰京し、西ノ京一帯に及ぶ北野の杜、北町に菅

晴天に恵まれ、無事斎行することができた。
当日は台風十四号の影響が懸念されたが、幸いにも敬者らの安寧と五穀豊穣、益々の弥栄を祈念している。

夏休み恒例の奉納図画展 子どもの力作六百九十八点を西廻廊に展示 天満宮賞など二百二十八点が入選



堂に展示され、参拝者の目を楽しませた。 どもたちの感性溢れる出品作六百九十八点が一月十九日から二十八日まで西廻廊で催され、子

上達を願う当宮ならではの伝統行事。アジサイ・夏休み中に描いた絵画作品を奉納して図画の

とマワリ・カブトムシ・ダンゴムシといった花や昆虫、三 光門・撫牛といった 当宮境内を色彩鮮や かに描いた作品など が展示された。 審査は展示初日に 審査は展示初日に

の三人で行われ、天本悟両先生と権宮司を発生と権宮司の三輪純子、根



明小学校六年) 明小学校四年)、奥野美咲(京都教育大学附属京都小中学校五年)、亀井沙羅(紫明小学校四年)、奥野美咲(京都教育大学附属京都小中学校三年)、髙橋佳誉子(紫年長)、高嶋澄空(枚方幼稚園年長)、ブルーム愛里彩(新町小学校一年)、甲年長)、高嶋澄空(枚方幼稚園年長)、ブルーム愛里彩(新町小学校一年)、甲ん王保育園年中)、芦田博臣(みつば幼稚園年中)、水谷優志(京都きらら学園、天満宮賞】芦田美琴(三歳)、岡橋建弦(みつば幼稚園年少)、大西琴葉(だ

「京都新聞特別賞」大浦葵(京和幼稚園年中)

前田寧音(上高野小学校五年)、羽生梨歩(二条城北小学校六年)附属京都小中学校一年)、北岡あおい(京都教育大学附属京都小中学校三年)、田幼稚園年長)、清水七羽(京都きらら幼稚園年長)、杉木紗良(京都教育大学祖父江結菜(リトルジェイムズインターナショナルスクール年中)、宮下万惠(吉【京都新聞賞】木原芽莉(北野保育園年少)、原田裕永(京都きらら幼稚園年少)、

【銀賞】原口映茉(京都きらら学園年少)始め百二十一人【金賞】谷内亮太(京都きらら学園年少)始め八十三人

御本殿で入選者授賞式

満宮賞など二百二十八点の入選作が決まった。



入選者の授賞式は、展示最終日の二十八日午後三時か入選者の授賞式は、展示最終日の二十八日午後三時から、御本殿に主な入選者と保護者が参列して行われた。ら、御本殿に主な入選者と保護者が参列して行われた。中の菅公は、学問・芸能の神です。絵師らの崇敬も篤く神の菅公は、学問・芸能の神です。絵師らの崇敬も篤く神の菅公は、学問・芸能の神です。絵師らの崇敬も篤くで下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」と激励し、天満宮賞・京都新聞賞などを一人で下さい」といい。

審査員の講評

ても紙一重の作品もあったので、腐ることなく描き続けてほしい。その子の将来を思い、重い選択のような気がした。賞に選ばれなかったといっに選ぶか大変難しかった。賞に選ばれるかどうかで一喜一憂するわけだから、賞に選んだ。といっても選ぶこちら側も審査員二年目とあって、どの作品を賞命に向き合って表現しているか、その子の熱量がこちらに伝わってくる作品をジナリティーが出ているかが大事なところだと思う。それでいて丁寧に一生懸ジナリティーが出ているかが大事なところだと思う。それでいて丁寧に一生懸ジナリティーが出ているかが大事なところだと思う。それでいて丁寧に一生懸

十二月一日 献茶祭

地から、茶壺に詰められて奉献される。 宇治・伏見桃山・小倉・八幡・京都・山城) 御神前で使用される茶葉は、毎年山城六郷(木幡・ 当宮献茶祭は、 明治十一年に再興された。 の産

的にも非常に珍しく、毎年厳粛に執り行われてい びに口切式から献茶祭へと続く一連の神事は全国 古式に則り、御茶壺道中・御茶壺奉献奉告祭並



平年通り、

二宗匠輪番によ るご奉仕が慣例 堀内家・久田家 内家の四家元と とされ、 者小路千家・藪 家・裏千家・武 月一日、 当宮の献茶祭 在洛の表千 本年の

れていたが、本年は コロナウイルス感染症の影響で、 ご奉仕は堀内家長生庵堀内宗完宗匠。ここ数年新型 茶席などが中止さ



る献茶祭を十二 で斎行する。 の縁を今に伝え の「北野大茶湯 約 四百 御本殿 年 · 前 十一月二十六日

御茶壺奉献奉告祭・口切式

導による御茶壺道中で艶やかに奉献される。 使用される抹茶の原料である碾茶が、十二月一日斎行の献茶祭に先立ち、 献茶祭保存会役員が、 茶壺に入れられ、姉さんかぶりの茶摘み娘の先 二十六日、山城六郷の茶師によって産地ごとに 御本殿では御茶壺奉献奉告祭を斎行した後、 ひとつひとつの茶壺の口 十一月 祭典

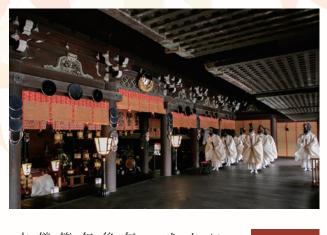


を切り、 碾茶は、石臼にて が、古式に則り執 り行われる。 知を行う「口切式」 薄茶に使用され 茶祭当日の濃茶・ 抹茶に挽かれ、 茶葉の検 献



る

る。



十月二十一日

條天皇行幸始祭

下十余年ぶりに再興したものである。 一條天皇が初めて当宮へ行幸された日に当たる十月二十一日、その佳日を寿ぎ御本殿において祭典を執り行う。 この祭典は、一條天皇の行幸以来、 一條天皇行幸より一○一○年の佳日 をあった「一條天皇行幸始祭」を、 一條天皇行幸より一○一○年の佳日 であった「一條天皇行幸始祭」を、 一條天皇行幸より一○一○年の佳日 であった「一條天皇行幸始祭」を、 一條天皇行幸より一○一○年の佳日



十月二十九日

余香祭・献詠歌披講式

『重陽後一日』の名詩を作られた菅公香祭を斎行する。祭典では、車座になった向陽会会員らが、全国から寄せられた向陽会会員らが、全国から寄せられる献詠歌を、綾小路流という独特の節回しで披講する献詠歌を、綾小路流という独特の節回しで披講する献詠歌披講式も執り行う。この祭典は、古くは重陽の節句に有の節句に相応しく黄と白の菊が飾られ、神職と向陽会会員一同は、冠に小菊を神職と向陽会会員一同は、短に小菊を神職と向陽会会員一同は、短に小菊を神職と向陽会会員一同は、短に小菊を



新嘗祭

新嘗祭の「新」は新穀、「嘗」は神様 に召し上がって頂くという意味で、そ の年に収穫された稲穂や白米・白酒な の年に収穫された稲穂や白米・白酒な た、氏子崇敬者が丹精込めて育てた野 た、氏子崇敬者が丹精込めて育てた野 菜などを御神前に供え、当年の稔りに 墓謝する祭典で、年間の恒例祭典の中 でも最も重要な祭儀の一つ。新嘗祭は、 全国の神社で斎行されるが、当宮でも、 多数の氏子崇敬者が参列のもと、大祭 多数の氏子崇敬者が参列のもと、大祭 オにて厳粛に斎行する。



十二月十三日

大福梅の授与

事始めの十二月十三日から授与を始め福梅」の調製作業を十一月下旬に行い、 正月祝膳の縁起物として名高い「大

を予感させる風物詩となっている。と古くからの縁拝者が長蛇の列をなし、競っり多くの参拝者が長蛇の列をなし、競った、一のの参手者が長蛇の列をない、競った、一個を授かる光景は、初春の訪れた、一個を授かる光景は、初春の訪れて頂に、「厄除開運」「招福大福梅は、元旦に「厄除開運」「招福

祭 事 曆 (10月1日~12月31日)

【赤字表記:北野祭祭礼】 《10月》 10月1日~5日 1日 神幸祭 出御祭【本社】 午前 9 時 午後 1 時 行列出発 午後 4 時半 着御祭【御旅所】 八乙女「鈴舞」奉納 2日午前10時 献茶祭【御旅所】 表千家宗匠奉仕 3日午後3時 甲御供奉饌【御旅所】 西ノ京七保会による特殊神饌の奉饌 4日 還幸祭 午前 10 時 出御祭【御旅所】 午後 1 時 行列出発 午後 5 時 着御祭【本社】 5日午後3時半后宴祭·稚児奉仕終了奉告祭【本社】 八乙女「鈴舞」奉納 8日午後4時 名月祭 (豆名月) 8日 午後 4 時 名月祭 15日 午前 10 時 月次祭 17日 午前 10 時 神宮祭 午後 4 時 瑞饋祭終了奉告祭 20日参籠 21 日 午前 10 時 一條天皇行幸始祭(中祭式) 午前 11 時 秋季摂末社奉饌 25日午前9時 月次祭夕神饌 午後 4 時 29日午後2時 余香祭 《11月》 1日午前10時 月首祭 3日午前10時 明治祭 午後1時半世曜五日 午後 1 時半 北野天満宮講社大祭・曲水の宴 15日午前10時 月次祭 22日 参籠 23日 午前10時 新嘗祭 (大祭式) 25 日 午前 9 時 月次祭 午後 4 時 夕神饌 26 日 午前 11 時 御茶壷奉輔 御茶壷奉献奉告祭並びに口切式 27日 午前 10 時 摂社和泉殿社例祭 30日 午前10時 赤柏祭 《12月》 1 日 午前 9 時 月首祭 午前 10 時 献茶祭 御奉仕 堀内家長生庵 庵主 堀内宗完宗匠 13日 午前 8 時半 大福梅授与 15日 午前10時 月次祭 16日参籠 17日午前9時 御煤払 17 日 午前 9 時 御煤払 25 日 午前 9 時 月次祭 午後 4 時 夕神饌 28日 午前 9 時 注連縄飾り 31日参籠 午後4時 大祓式 午後 7 時 除夜祭



ぎ用

わ品

などを

8

る

参

者

で

終

がい縁

でに産始

商め、

起

を

立っ

拝ちぱ物

並しい

に月を骨

で宮のる

日正品

民に 並 董 ٤ や境 毎 ~" か た多くの露ったのは、迎れた多くの露った。 月二十 親 る 月 ら 三十五日 5 御 0 しまれ 月 参 天 買の n い日五拝 + 7 天 者 い露 の日 H 61 神 求天店春 は、 Ŧī. は、 天 商先 0 H 今 角 ٤ 神

さ年

で後

近あを

の市である。

0

最

呼

遠

吁ばん」

は

溢

か

え

が

公

0 れ

御

H る

毎

月

H



行中起新に形 大 ち日 年 脢 し、に に 源 々 祓 年 越 は を 託 犯 0 日 式 の 遠 迎清 に して 生 U L 上活の中 行 5 大祓 わ か祓 れ 年 でい る 式 で、 に 恒

わを 牟 れは 7 く神代にまで遡り、 お b, 0 参 めのるう 当 り、 者 一宮に のる が 例 度、 神い 自知 訪 0 事気心ら B 5 n り、 全 ず 六月 身 で 持 身の を国 ٤ 知 罪 あ 5 今 もに、いずの 清の る。 な 神 お、そ来新を 日

月釜献茶 (10月1日~12月31日)

午後 7 時半 火之御子社鑽火祭 午後 10 時~午前 3 時 火縄授与

《10月》				
1日	献茶祭保存会	徳永	宗住	(明月舎)
9日	梅交会	細川御	流松向会	(松向軒)
15日	献茶祭保存会	馬場	宗鶴	(明月舎)
	松向軒保存会	杉山	宗喜	(松向軒)
23 日	紫芳会	新居	万太	(松向軒)
《11月》	.0			
1日	献茶祭保存会	不審菴	社中	(明月舎)
13 日	梅交会	郡	宗由	(松向軒)
15日	献茶祭保存会	織部流	庸庵	(明月舎)
	松向軒保存会	鮒子田	宗恵	(松向軒)
27 日	紫芳会	今村	宗幸	(松向軒)
《12月》			1	
1日	献茶祭			
11日	梅交会	田中	宗恵	(松向軒)
15日	松向軒保存会	野添	宗智	(松向軒)
25 日	紫芳会	休	会	1

宮司が清水寺の「うらぼん法話」 |歴史に学ぶ平安京||清水さまと天神さま の講師に



が講師として登壇した。 清水寺の「うらぼん(盂蘭盆)法話」に当宮宮司 京都の夏の風物詩ともなっている東山区の名刹

れている。 歳で亡くなられた中興の祖、 年高僧や文化人・学者などが講師となって行わ を始められたのが起源。 正四年(一九一五)、法施として盂蘭盆教の講話 同寺の「うらぼん法話」は三十九年前、 良慶和上亡き後は、 大西良慶和上が大 百

らぼん法話」は、百年以上の歴史を持つ格別の や先達が講師となる講演(法話)会を "暁天講座" と称し、夏の風物詩ともなっているが、同寺の「う 京都の寺々では毎年、 この時期の早朝、

一日から五日まで毎朝午前六時から同寺大講堂で 第一○六回となる今夏の「うらぼん法話」は、

話し、最終日の森清範貫主の法話で締めくくられた。 宮司は二日目に登壇し「歴史に学ぶ平安京 清水

門に当たる北野に祀られ、百年をかけて天神信仰が 信仰で全国に伝播した歴史を紹介した。 定着し、学問の神・芸能の神・至誠の神など様々な 仏教伝来のこと、菅公のこと、怨霊神が平安京の天 化的遺伝子を引き継ぐ日本人のことから話し始め、 さまと天神さま」と題して講話した。縄文時代の文

毀釈で失われたが今春復興。四月に三庭苑令和再興 として京洛に名を馳せた。 の庭」が「雪月花の三庭苑」(松永貞徳作庭とされる) 結願法要が清水寺の本堂で営まれたことなどを紹 また、清水寺とのご縁について、江戸時代、 「雪の庭」、清水寺の 北野社だけは明治の廃仏 「月の庭」、北野社の「花

行われ、学者や狂言師、 高僧などが講師となって



見ることができた。 同様の書類が遺されており、 薄緑(膝丸)にも多少書式に差異はあるものの 御神宝を守り伝えようとする当時の努力を物語るものであった。大覚寺の太刀 困難な時代の跡を

えていこうと、両社寺とも想いを新たにした次 を越え、現代に伝来した二振を今後とも守り伝 の温かい眼差しに触れ、さまざまな受難の時代 気であった。源氏の兄弟刀を見守る多くの方々 ザインした展覧会期間限定の記念品も大変な人 あったためか連日多くの来場者で、兄弟刀をデ 第である。 各会場はコロナ禍の収束が見え始めたことも

神職による早朝参拝と宝物殿貸切ツアーを企画 企画展終了後の九月半ば以降は、週末限定で こちらも好評のうちに終了した。

宝物殿特別公開第四十七回京の夏の旅

第 一弾 両社寺の歴史と兄弟刀 永遠に継ぐ 源氏の重宝

第三弾が、九月三十日(両社寺同時展示は九 催で開催していた大覚寺と当宮との企画展 うとした人々の想いにも着目した内容となっ 現代にかけて激動の時代に二振を守り伝えよ 名膝丸・大覚寺蔵)二振の歴史や、近代から 刀鬼切丸(別名髭切・当宮蔵)と太刀薄緑(別 れたと伝わる源氏の重宝・兄弟刀としての太 れた源頼朝、義経兄弟によりそれぞれ所持さ 月十二日まで)大盛況のうちに幕を閉じた。 本展示では、今年度の大河ドラマでも描か 七月九日より京都市の「京の夏の旅」と共

筆記体のアルファベットにより丁寧に綴られた由来は時代を感じさせるととも う提出した史料や、その許可証が初公開され 守)に関して美術刀剣として所持を認めるよ 国宝五振(鬼切丸・國広・恒次・師光・助 当宮では、 GHQによる刀狩りの際に 旧



全国稲荷会 御本殿で正式参拝

文道会館ホールにて

上七軒芸舞妓のお手前で茶を楽しむ



れた。 当宮に来社、御本殿 参会の方々が九月 二十二日午前九時に にて上七軒芸舞妓の にて正式参拝をした 全国稲荷会 文道会館ホール

会長・伏見稲荷大社 参拝では全国稲荷会 団体であり、此度の 崇敬者で組織される する神社で奉職され 宮司舟橋雅美氏をは ている神職や総代、 稲荷大神を御祭神と 全国稲荷会とは、

じめ四十名余りの方が参列された。

宮司が御本殿にて挨拶、また当宮の歴史について説明を に作舞された巫女舞「紅わらべ」を奉奏。参拝後は当宮 御本殿にて斎行した正式参拝では、 御祭神の御歌を元

した時間を過ごされた。 係や歴史について説明が行われたこともあり、茶を楽し 妓によるお点前が行われた。点前に先立ち当宮と茶の関 んだ後は実際に使用された茶道具を見学するなど、充実 その後、文道会館ホールに会場を移し、上七軒の芸舞

れた方も多く、当宮に関する説明などに耳を傾け、茶文 化に触れるなどし、 当日はあいにくの空模様となったが、府外から参加さ 出発の際には皆一様に笑顔で当宮を

献茶祭保存会だより

役員会開催、 三年ぶりに御茶壷道中を復活させる旨を確認 今年の献茶祭について審議

で開催、 した。 献茶祭保存会の役員会を八月十二日文道会館 十二月一日斎行の献茶祭について協議

ことを願っている」と挨拶。ついで今年のお当 挨拶された。 統の献茶祭、 たい」。また役員を代表して山本源兵衞氏も「伝 ている。 年の献茶祭が無事務めることが出来るよう願っ 番である堀内家長生庵の堀内紀彦若宗匠が「今 年は例年に復して賑やかな献茶祭が斎行できる が中止となった。現在、第七波だそうだが、今 コロナ禍によって祭典のみを行い、様々な行事 冒頭、 コロナの現況を見ながら対応していき 司が「残念ながら令和二年、 盛大に執り行いたい」とそれぞれ

来の形式で献茶祭を斎行することで意見が一致し 了承された。さらに献茶祭当日について協議。従 ることや口切式の次第などについて説明がなされ 行する旨報告し、御茶壺行列を三年ぶりに実施す いて、十一月二十六日午前十一時から御本殿で斎 先立って斎行する御茶壺奉献奉告祭・口切式につ 斎行に向けた建設的な意見が飛び交った。 「密にならないような対応が必要」など、 この後議案に移り、まずは事務局から献茶祭に 万全の

歴史と伝統の神事を厳粛に行い、文化の継承に努 最後に宰領の渡辺孝史氏が「コロナ禍であるが いきたい」と挨拶され役員会を終えた。

十一月二十六日 (土) 午前十一時 同午前十時四十五分 御茶壺道中 御茶壺奉献奉告祭・口切式 斎行

十二月 一日(木)午前十時

献茶祭斎行

本年献茶祭当番 堀内家長生庵 堀内宗完宗匠

だより 氏子講社

三年ぶり御鳳輦出 !祭斎行を確 出御開 0 <

五十人が参加して開かれた。「今年の瑞饋祭理事総会が八月二十四日、文道会נに理事・ 挨拶した。 三年ぶりに御鳳輦がお出ましになるということ で、皆様方のご協力よろしくお願いします」と 京都の経済がよくなることを祈って行いますの る祭りです。未だ収束しないコロナですが、日本、 に続き、宮階講社長が「瑞饋祭は五穀豊穣を祈 で、大変うれしく思っています」との宮司挨拶 事総会が八月二十四日、 野天満宮氏子講社 (宮階有二講社長) ;た。「今年の瑞饋祭は、文道会館に理事・約(宮階有二講社長)の

もって了承した。 令和四年度の予算案を事務局の報告通り拍手で この後、 議事に入り、令和三年度の決算報告、



盛大に斎行され年ぶりの祭りが 風講社の小石原承した。最後は梅 に至る五日間の日祭、五日の后宴祭 奉饌、四日の還幸 祭、三日の甲御供 います」と挨 ることを願っ 告され、これも了 程が事務局から報 旅所における献茶 神幸祭、二日の御 確認、十月一日 の担当学区・講の 引き続き瑞饋 7 0

三年ぶり北野 時代隆盛 大闘茶会開 の優雅な茶遊びに挑戦 <

コロナ禍によっ



都市茶業組合、 北野大闘茶会(京 参加した。 かれ、約六十人が 日、三年ぶりに開 主催)が十月十六 都市茶業青年会 中断していた

に隆盛を極めという室町時代 を飲み比べ、茶 湯ゆかりの地で 天正の北野大茶 た優雅な茶遊び。 0) 種類を当てる

なくされ、今回は三年ぶりの開催となった。 毎年開催されてきたが、コロナ禍によって中断を余儀 茶文化が脈々と息づく当宮は格好の会場として

玉露・煎茶各二種類、 荒茶一種類、 合わせて五種

挙げた横浜市の女性 種類を紙に書き込ん でいた。最高得点を いたりしながら茶の 首をかしげたり、頷 顔つきで茶を味わい、 茶の種類当てを競っ を三回ずつ味わって 名を秘した各茶 参加者は神妙な 野天満宮賞が贈



京丹後大宮賣神社で北野神輿会・北野祭保 穂祭と稲刈りを奉仕 存

奉仕を行った。 宮司)の抜穂祭に参列し、祭典後は斎田の稲刈り 京丹後市大宮町に鎮座する大宮賣神社(島谷泰夫 内勤会長)と共に九月十一日、当宮と御神縁深き 保存会(井上経和会長)は、同北野天神太鼓会(竹 けている当宮崇敬団体である北野神輿会・北野祭 北野祭」の再興に向けて様々な取り組みを続

極的に参加し、質問をする等、 奉仕者は、普段なかなか体験できない稲刈りに積 ゼミ生やボーイスカウト京都第八十五団のスカウ 収穫した。今回も京都産業大学下出祐太郎ゼミの 実った稲穂を感慨深い表情を浮かべながら次々と 田植祭に参列し田植えをした稲穂であり、立派に 御神地にある斎田に場所を移して稲刈りが行われ トらも稲刈りに参加し、一行あわせて約四十名 た。今回収穫した稲は、同会の会員らが今春御 で抜穂祭が斎行され豊穣の感謝を祈った。その後、 日となった。 まず大宮賈神社御本殿に特別に整えられた祭場 多くの実りがある 0)

収穫された稲は精米され、 瑞饋祭の奉仕者へ宮

弁当として振る

神縁がある神社の献えが行われており、深い御 周枳社の別名が大宮賣神社は、 周枳社が祀られ、 にも末社として ある古社。 舞われた。 当 宮

北 野 年ぶり天神太鼓を披露商店街夏祭り

まつり」に、 を披露した。 が野 あ のわ 近力の演芸天神太鼓 1崇敬団 三十 る神若会北 れ 店 門 七 た「きた 街 月 にて Ŧi. 体、回で当夏 北 会 行野四

ボールすくい して、スーパー 歩行者天国に 店街の一部を 合が主催し、 ŋ らが主催し、商問店街振興組 この夏まつ

催から二年連続で出演を中止していた。今年は三コロナウイルス感染症の影響により令和元年の開ってい地域の活性化の一助を担ってきたが、新型の夏まつりとして親しまれてきた。太鼓会も長年の に多くの参加者が訪れた。特設ステージでは、北こども文化会館前広場には地域の子ども達を中心年ぶりの開催となったこともあり、会場の旧京都 サークル紫踊屋によるダンスなどが披露され、天野中学校吹奏楽部による演奏や佛教大学よさこい や射的などの遊戯や飲食等の屋台が出店する地



がった。 う例年に比べると少ない人数ではあったが「三宅」 神太鼓会も力強い演奏を行った。 対流」「一心」の三曲を演奏すると、 竹内勤会長・野々口匠師範をはじめ、九名とい 演奏終了後には大きな拍手と歓声が上

観客は

境内散策、八組のカップルが誕生七夕の当宮でゆかたの婚活

がら婚活し、八組のカップルが誕生した。 当宮で行われ、ゆかた姿の男女が参拝や境内散策をしな上京―七夕の天神さんで縁結び―」の催しが八月七日、京都市の上京区民会議主催による「ゆかた de 婚活 in

参加した。

参加した。

参加した。

参加した。

参加した。

参加した。

この後、文道会館に戻り、一対一のフリートークタイ七夕の短冊に願いを書いて笹に吊るし、手を合わせた。け燈明神事斎行中の御手洗川に入ったり、宝物殿の見学、で彩られた境内を散策した。ゆかたの裾をめくって足つで彩られた境内を散策した。ゆかたの裾をめくって足つ会館に集合。神職の案内で御本殿を参拝をし、七夕飾り午前中、区役所で顔合わせした参加者は、午後当宮文道午前中、区役所で顔合わせした参加者は、午後当宮文道

組もあった。最後に気 雰囲気で話を弾ませる すっかり意気投合した だ。午前中、区役所で 書いた書類を見ながら 互いにプロフィールを あり、事務局から八組 に入った相手を最大四 も二回にわたり同様の 話しをしていくもので、 男性が次々回りながら のカップルが誕生した 人まで書くコーナーが トークタイムがあり、 ム。女性は座ったまま 一分間の会話を楽しん

当宮は敢闘賞を獲得上京区自衛消防訓練大会



が参加し技を競った。四部門に区内の十四事業所から十五チームの部▽屋内消火栓の部▽屋外消火栓の部のの部▽屋内消火栓の部▽屋外消火栓の部▽はより中断しており、三年ぶりの開催でされていたが、新型コロナウイルス感染症のされていたが、新型コロナウイルス感染症の

当宮御本殿は、慶長十二年(一六○七年)当宮御本殿は、慶長十二年(一六○七年)当宮御本殿は、慶長十二年(一六○七年)の、当時の姿を今に伝える貴重な建築物としり、当時の姿を今に伝える遺重な建築物として国宝に指定されている。その御本殿を後世に豊臣秀頼公によって造営されたものであける。掛け声に合わせ、素早くホースを繋ぎらわせ、的に向かって的確に放水するなど、当宮御本殿は、慶長十二年(一六○七年)当宮御本殿は、慶長十二年(一六○七年)

ことが報告された。

同祭の記録を綴った「北野會要誌」によると、「会中庭で撮影された光景である。写真説明には「大祭中庭で撮影された光景である。写真説明には「大祭野会幹部等西側」とある。

同祭の記録を綴った「北野會要誌」によると、「会同祭の記録を綴った「北野會要誌」によると、「会同祭の記録を綴った「北野會要誌」によると、「会同祭の記録を綴った「北野會要誌」によると、「会にその時に撮影されたものである。

された。

自衛消防

究館グラウ

街生き方探

ンドで開催

官選十八代の京都官選十八代の京都である。彦根市出身の官僚でありまみはら)重義氏である。彦根市出身の官僚であり

て毎年開催

向上を図っ隊の技術の

府知事として二年間、府政事として二年間、府政事として二年 なお、会長の前田侯爵は、この大祭に参列できなかったことを遺憾と して、ロンドンより長文の電報を寄 並びに奉祝の意を ませられたり」と





献 詠 濱崎加奈子選

さらに柿本人麻呂と山部赤人と並んで「和歌三神」と称えられています。 菅公は詩歌に優れ、多くの名歌を詠われました。室町時代には「和歌の神」と仰がれ、

七月 朝户」

こともある昨今では、朝、玄関や窓をあける時の感覚も異なっている 男の姿を詠む歌などがみられる。酷暑ゆえエアコンをつけっぱなしの 出の君が姿をよく見ずて長き春日を恋ひや暮らさむ」と朝帰っていく 戸をあけて送りし君のゆく道を 朝戸開け辰の刻はや日も強く 朝戸あけ光を入れておはようと 朝戸あけて一息に入る霧の群 【評】朝起き出て開ける戸をいう。記紀にもみえ、万葉集には「朝戸 挨拶交はし迎ふる朝户 文月の陽光目にもまぶしき 母の言葉に目をこする子ら 朝霧たちて心たゆたふ つもより早起き目指す湖へ ののめに鳴る銅鑼涼し茶事の席 の朝户となりぬるは吉 ひの山も隠す真白に 東京都 京都市 京都市 京都市 京都市 岐 阜県 波多野千寿子 若狭 白石 塩小路光胤 小 部満千子 山 雅彦 博子 静 業 山 半 早 砫 朝 夜

月 松 風

「下」公)材で)引き、まか肌さい。「下)閉ぐき・査・「豆豆」」	寄せては返す想ひ出の波うら寂しただ彼の人を松風の	吹く松風は万古の不易白妙の雲立ちのぼる須磨の海	風音にきく過ぎしむかしを城荒れて堀に垂れくる老松の	蝉しぐれ乗せ琴を鳴らせり松風は夏の陽ざしに涼そそぎ	肌に冷めたき松風そよぐ滝見んと森林浴の遊歩道
5) 引 ご 二 春	東京都	京都市	京都市	京都市	岐阜県
	白石 雅彦	若狭 静一	服部満千子	小山 博子	波多野千寿子

曲「松風」は「村雨」とともに須磨に住する海女の名、謡曲「高砂」けゆくままに高砂の峰の松風吹くかとぞ聞く」(後撰集)と詠み、謡 では「相生ひの松風颯々の声ぞ楽しむ」と謡われる。茶の湯で釜の湯 【評】松の樹木の間を抜ける風をいう。琴の調べを讃えて「短夜にふ

九月 残月」

平】复ぶ月ナこの堂に残っている月さい)。 可用の月こい。	薄幸の士を照らす残月取中の友と語らふ山月記	まなこあけれは月は残れり山鳥の高き音色に夜はあけて	眠れぬ一夜残月見上ぐ十年後再CT検査有り	有明月の影にいざよふ一鞆にかなぐり捨てし赤印	人魚のごとく吾を欺く、月のドラマツルギー問ふ君は	残月称へむ京都讃歌よ朔空に夏の終わりの蝉の声	空に残月浮かぶをぞ見る仪もすがら郡上名物踊り果て	
)。 1	東京都	京都市	兵庫県	京都市	京都市	京都市	岐阜県	
	白石	塩小路	村島	服部満	若狭	小山	波多野千寿子	
- - - -	雅彦	^路 光胤	麗門	千子	静一	博子	- 寿子	

兼題にどのように挑むのか過去の例も参照されたい。 紀初頭に催された歌合に題「古寺残月」が出され、藤原俊成は「また【評】夜が明けても空に残っている月をいう。有明の月とも。十三世 たぐひあらしの山のふもと寺杉のいほりに有明の月」と詠んでいる。

正 一式参拝された皆様 (敬称略)(七月~九月)

七月 二日 土 北田自治会

七月 十三日 (水 天神社総代会

七月 十四日 木 京都北ロータリークラブ

七月二十一日 木 公益社団法人

全国社寺等屋根工事技術保存会

七月二十一日 木 京都産業大学下出ゼミ

八月一 二十三日 火 京都府神社庁役員会

九月 十二日 月 御祖神社崇敬会

九月二十二日 木 全国稲荷会

九月二十七日 火 太宰府天満宮

挙式された皆様 (七月~九月)

九月二十三日 新郎新婦様、御両家の皆様の末永いご多幸をご祈念申し上げます。 金) 中塩屋祥平・菜穂 ご夫婦

御 旅 所 献 詠 田

休耕田一面咲きしコスモスを

田の文字は十を結びて四方なる 先祖が見れば愚痴が出るかも 岐阜県 波多野千寿子

京都市

魂まつる赤米たわわ能登の田 田園に歌を忘れし兵士たち 向日葵咲くも日々は重たし 日本の偉跡となりにけるかも ふき交ふ風の芳しきかな 京都市 京都市 小山 若狭 服部満千子 静一 博子

あゆみ入る山狭の田にたつ路鳥よ 行田市の田んぼアートの壮大さ とひ行く空にひとすちの雲 稲穂の色の暖かき世界 京都市 兵庫県 塩小路光胤 村島

秋の風殿様ばった赤とんぼ 目に眩しきは稲穂実る田 東京都 白石 雅彦

る」など農耕作業にかかる語は縁語や掛詞として多く とか人のかるらむ」(素性)では「いね」に稲と「去ね」、 古今集「秋の田のいねてふこともかけなくに何を憂し 「かる」に「狩る」と「離る」をかける。 「つくる」 「守 和歌に詠まれてきた。

令和五年兼題				
1月	友			
2月	境			
3月	澪標			
4月	曙			
5月	淡路島			
6月	青嵐			
7月	苧環			
8月	浮雲			
9月	法			
御旅所	鼓			
10月	嵯峨			
余香祭	節			
11月	千種			
12月	庵			

禁裏奉納の 無名 0 和歌 短 **III**

京都大学名誉教授

藤井

讓治

二行で書かれ、その後に作者の名が記され頭に書かれ、ついで五七五、七七の和歌が ている。 つをみると、 北 野天満宮に奉納された和歌 大半の短冊に 、歌題が文 短冊

れた。 霊元 一〇〇首が霊元天皇から北野社に奉納さ 天和 九日に禁裏で催された聖廟法楽での和 天皇への古今伝 年(一六八三)に後西 授直後の同年十二月 上 皇から

٤

げた。 頭の短冊四 奉納された和歌 枚と十五 短 枚目の短冊の写真をあ 冊 一〇〇枚のうち、 冒

和歌本文、 ているが、 と十五枚目には、 また二枚目 作者にあたるところに文字はな 作者が記されているが、一枚目 から四 歌題・和歌本文は記され 枚目の短冊には歌題、

天皇 る九十四枚のなかには、奉納者である霊元 は名がみえない。さらに、名が記されてい 作者の名が書かれているが、 奉納の 一の名を見い出せない。 短冊一〇〇枚のうち、 、九十四枚に

天皇の作なのだろうか。 とすると、 作者名を記さない六枚 は霊元

[会和歌集] という資料が内閣文庫に残さ 禁裏での歌会を詳細に書き留めた そこには、 奉納された短冊 近代 の歌

3

題・作者・和歌本文がすべてが記され 最初の句には、 ている。

記されている。 春のひかりをしくかすみかな ふるとしの嵐もゆきもうつもれて

方、十五首目には、

とあ できる。 院」すなわち後西上皇作であることが確認 かり、 紫の ふちのしなひのなか!~し日も 前者は霊元天皇の作、後者は、 いとくり返し見れとあかぬ 「新

が上の句より一字下げて書かれている。であるのに対し、後西上皇のものは下の句字目が霊元天皇のものは上の句と同じ高さ 5 短 重 ٤ 要な指標なのである。 違いがみえる。その違いは、下の 後西上皇のものには書き様にわずかなが 冊の写真をみてみると、霊元天皇のもの こうした点を踏まえたうえで、もう一度 この違いが、 天皇と上皇との違いを示す 句の一

和歌短冊を研究された神道宗紀氏が指摘 であり、 この点は、 ている。 住吉社・玉津島社等へ奉納され、すでに近世和歌研究の第一人

霊元天皇和歌短冊

天和三年短冊 先頭

近衛基熙和歌短冊

天和三年短冊 二枚目

花山院定誠和歌短冊

天和三年短冊

花園公晴和歌短冊

かりかのませんとうせ るけるるもあれしれとける

天和三年短冊 四枚目

後西上皇和歌短冊

とう、どうとは のちっと

天和三年短冊

天神信仰 仰 の主な歴史 注 歴史事項 北野天満宮事項 伝説事項

ì	承和 士	菅公薨去
	十二年	去後、
		およそ百
	菅原道真公	よそ百年かけて醸成され
i.	(菅公)	既成され
	御誕生	4千年
	八四五 菅原道真公(菅公)御誕生(父 是善 母 伴氏)	れ千年受け継がれる天神信仰
	父 是善との親子の	仰

仁仁和和 貞観 貞観 貞観 貞観 寛平 寛平 十二年 四二年年 八四年年 五四年年 九年 元年 六年 八九二 八七〇 八六二 八五九 八五五五 八九四 八九三 八八八八 八八六 八六六 八六七 従四位下『三代実録』『類聚国史』の編纂に着手 方略試(当時最高の国家試験)に合格 文章得業生となる 比叡山延暦寺円仁の『顕揚大戒論』の序文を書く 文章生の試験に合格 菅公元服 参議・式部大輔・左大弁を経て勘解由使長官 讃岐守に任ぜられる この間少内記(詔勅の起草係) 初めて詩 これにより宇多天皇に挙用され政治の刷新を図ると共に平安京文化の礎を築く 〈阿衡問題〉につき藤原基経に意見書を送る 文章生を目指し勉学 '月夜に梅華を見る」を作る 式部少輔など任ぜらる (菅家廊下を継承) 石清水八幡宮参拝 (菅公四十四歳 (菅公四十二歳 (菅公二十六歳 (菅公二十三歳 (菅公十八歳) (菅公十一歳) (菅公五十歳) の契り

遣唐大使に任ぜらる

正三位に叙し中宮大夫を兼ねる 渤海客使を接待し詩を交換 中納言従三位

八九五

菅公右大臣に任ず 位人臣を極める

『菅家文草』『菅相公集』『菅家集』を献上す(三善清行、菅公に辞職を勧告) 一月二十五日大宰権帥に左遷される 大宰府南館で謫居の日々 (菅公五十七歳) (菅公五十五歳

延喜 昌泰 昌泰 寛平 寛平

> 三 二 年 九年 七年

九〇〇

八九九 八九七

九〇一

味酒安行 大宰府の御墓所に祠堂を建てる(現在の太宰府天満宮) 一月二十五日 配所において薨ず (菅公五十九歲)

詩集『菅家後集』を京の紀長谷雄に送る「天拝山で「天満大自在天神」となる

多治比文子 比良宮神官の子太郎丸らに神託 菅公を元の右大臣・正二位に叙し 門弟許され 京の都西ノ京にて菅公神霊を祀り始める 左遷の宣命を破棄す (朝日寺の僧 最鎮)

天慶 延長 延喜 延喜

五年 元年 六年

九三

九〇六 九〇五

九四七 上天皇御鳳輦御寄進

村上天皇により平安京の天門北野に鎮座す

村上天皇勅命により難波宮の地に菅公神霊を祀る(現在の大阪天満宮)

慶滋保胤「文道之祖詩境之主」の願文を草す 右大臣藤原師輔 北野の神殿を増築し神宝を献ずる

寛和 天徳

天曆

二三三年年

九五九 九四九

九八六

北野社は官幣社となり勅祭北野祭が斎行される(江戸末期迄) 條天皇より北野社官幣に預り「北野天満大自在天神」の神号を賜る

建 康 和

三年 元年 元年

九〇四一 $\bigcap_{\text{}}$

『北野天神縁起』建久本成る

『北野天神縁起』承久本成る

一二九

永保 寛弘

北野社が国家の大事を祈る二十二社に臣下で異例の加列

條天皇初めて臣下を祀る北野社に行幸

以後歴代天皇の行

大宰権帥大江匡房により大宰府・安楽寺にて神幸式大祭が斎行される

九九三

左大臣・正一位

次いで太政大臣を追贈される

條天皇御鳳輦御寄進

平安宫 大内裏

注① 国都平安京大内裏で千百年間天皇の祭政が執行され、 日本文化が育まれてきた。

注(2) 平安京・大極殿の天門に北野、鬼門に比叡山、 宇多天皇創建の仁和寺などが精神的 中心となって熟成の礎となった。

八幡さま、稲荷さまを始め多くの神仏は国都平安京(元の国都平城京)の近畿より 注(3) 全国に伝播。

江戸年間 天正 応応 十五年 八年 八年 二年 六〇七 六〇三 五八七 四六七 四〇 後期 北野経王堂成る

(歌舞伎発祥

建立

八六四 勅命により北野祭臨時祭再興

神仏判然令(神仏分離)により 天台宗比叡山延暦寺のもと

慶応

太宰府天満宮 国幣小社となる(のち官幣中社)

九〇二 菅公千年大萬燈祭を斎行する

明治

二十五年

昭和

一十七年 十四年 0001 九五二 菅公千百年大萬燈祭を斎行する 菅公千五十年大萬燈祭を斎行する

令和 平成

二年 菅公千百二十五年半萬燈祭を斎行予定 例祭(かつての北野祭)斎行に伴い 比叡山延暦寺と共に北野御霊会を再興

今昔マップ (天門)北野社① 玄武 比叡山②(鬼門) 北大路 千本通 金閣寺 卍 北大路通 鞍馬口 出町柳 白北 仁和寺② 梅野 ☆北野社 吉田社 神宮 丸太町 京福北野線 大宮通 京都御所 太内裏① 丸杰町通 二条城 地下鉄東西線 平安神宮 JR山陰本線 (嵯峨野線) 京阪電車 烏丸 選 御池京都市 白虎 青龍 西大路御池 御池通 成前**———** 三条通 ラ 三条京阪 ノ内 西大路: 四条 松尾社(3 桂川 O 京福 院 〇四条 四条通 烏丸 祇園四条 嵐山線 大宮 河原町 一西院 祇園社3 五条通 , 清水五条 西大路通 七条 京都駅 東福寺 西寺② 稲荷社3 春日社③ 高野山 朱雀 (風門) (人門)(裏鬼門) 石清水八幡宮③(裏鬼門) ◆北野社創建(平安時代)至現在 ■ 平安京全域 ◆現在の京都

四年 四年 元年 八七一 八六八 北野天満宮 臣下で異例の官幣中社となる 出雲阿国が北野境内で初めてややこ踊り(歌舞伎踊り) 北野をはじめ太宰府・大阪・湯島など主要な天満宮に 室町幕府の崇敬で「北野祭」隆盛を極めるも応仁の乱より途絶える 社務を統括していた曼殊院との凡そ千年間に亘る神仏習合が終わる 後西天皇御宸筆 勅額「天満宮」御寄進(三光門揭額 「北野大茶湯」を豊太閤・千利休居士ら催す 北野社社殿を造営する(慶長の大造営) を公演 「和魂漢才碑」

http://kitanotenmangu.or.jp/



紅本 かの ら発 は信 じ地 ま 3 家 族 0 日

日

君は菅公の前途を祝 観 完年 <u>八</u>五 九年) 菅 公が + - 五歳の 元服 0) 折

励まされました。 家の風をも吹か せ て L が な

久方の月

の桂も折るば

か

稔り多 こめて、 ぐ あっ 我 和 が国で最初に家風を表され 歌 を詠 たと伝えられています。 新たな家庭を築かれますようにとの願 菅公邸宅 家族 46 から B かり はじまります 0 紅梅殿 立. な での 派 0) が、 な家風 神前結婚式 菅 ぶをも 公 0) つ 母: \bigvee を た 君



▼初穂料 大福梅

二〇〇円

*

頒

布開 始

十二月十

三日

火

午前

八時

半

五〇〇円

五〇〇円

三000円

(但し、無くなり次第頒布終了)

今年も事始め 大福梅」と から授与。 祝 膳 新 の 12 十二 年 縁 使 月 起 b 物 n +

を 3

E ▼初穂料 ▼頒布開: か 始 6 令和五年元旦より 本

無くなり次第頒布終了 000円

させた招福の梅の枝「おもいのまま」。 の初天神で参拝者に授与していた経 調製に用 より、 を込めている。 梅花祭で御神前 千五十年大萬燈祭(昭和二十七年) おもいのまま」 れど幸せを呼 ョウタンを取りつけ、 約六十年ぶりに授与を復活 いる厄除けの玄米 に供える特殊神饌 には、 でほ 菅公を偲 家庭に春 小が入っ の

の tc の

御縁日 境内ライトアップ

毎月25日は天神さんの御縁日。 境内特別ライトアップ!

定期購読のお知らせ

- ●定期購読 1,000円(1年分) 季刊·年4回発行
- ●学校・教育機関でお申込みの場合 は無料発送。
- ●お申込み・お問い合わせは、社務 所まで。











で読み込むと北野天満 宮の最新情報にアクセスできます。上記 の各SNSでもご案内しております。

●アクセス

名神高速道路南インター又は東インターより約30分 JR京都駅より市バス50系統 JR·地下鉄二条駅より市バス55系統 JR円町駅より203系統 地下鉄今出川駅より市バス51・203系統 京阪出町柳駅より市バス203系統

●参拝時間

■楼門の開閉時間 6時30分~17時

※もみじ苑ライトアップ期間や正月等は夜間も開門 しています。各行事のお知らせ記事をご覧ください。

■社務所·授与所 受付時間 9時~16時30分 境内の拝観は自由です。

京阪三条駅より市バス10系統 阪急大宮駅より市バス55系統 阪急西院駅より市バス203系統 京福電車白梅町駅より徒歩5分 いずれも北野天満宮前下車すぐ

●ご祈祷

■受付時間 9時~16時 ■受付場所 御本殿東側授与所

●駐車場

参拝専用です。

駐車は参拝時間内に限ります。

■開場時間 9時~17時 ※毎月25日は、縁日のため駐車 できませんので公共交通機関でお 越しください。